



# 6月18日(木) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

1  
日  
目

A  
会  
場

8:30~9:10

## 教育講演 1

日→英 AI 翻訳あり

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

EL1

### 労働者を取り巻くストレスと精神疾患～休職・復職・リワーク再考～

○堀 輝

福岡大学医学部精神医学教室



9:10~9:50

## 教育講演 2

日→英 AI 翻訳あり

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

EL2

### メンタルヘルスを通じた地域課題の解決に向けて—MEICISの取り組み

○根本 隆洋

東邦大学医学部精神神経医学講座 / 東邦大学医学部社会実装精神医学講座



9:50~10:30

## 教育講演 3

日→英 AI 翻訳あり

司会：田口 真源 大垣病院

EL3

### 内科医から精神科医になって30年経った私が思うこと

○平川 淳一

医療法人社団光生会平川病院



10:40~11:40

## 会長講演

日→英 AI 翻訳あり

司会：村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科精神医学

PL

### 社会の中の精神医療、社会を変える精神医学

○水野 雅文

社会医療法人あさかホスピタル



11:40~12:40 **特別講演 1**

日→英 AI 翻訳あり

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

SL1

**超高齢社会における認知症の予防と共生を考える**

○三村 将

慶應義塾大学予防医療センター



13:00~13:50 **スポンサードレクチャー 1**

英→日 AI 翻訳あり

司会：岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

SPL1

**The Significance of Measurement-Based Care in Schizophrenia.**

○John M. Kane

Feinstein Institutes for Medical Research, USA

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

14:15~15:05 **招待講演 1**

日→英 AI 翻訳あり

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

IL1

**生きづらさを抱える子どもたち～その生活とところ～**

○尾木 直樹

教育評論家 / 法政大学 名誉教授



15:15~16:15 **特別講演 2**

日→英 AI 翻訳あり

司会：根本 隆洋 東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

SL2

**AMPA受容体PET probeで紐解く精神神経疾患のシナプス病態～コロナ後遺症「脳の霧」は晴れるのか？～**

○高橋 琢哉

横浜市立大学大学院医学研究科生理学





16:30~17:10 **教育講演 4**

日→英 AI 翻訳あり

司会：渡邊 博幸 医療法人学而会木村病院

EL4

**予防精神医学の立場から見た周産期メンタルヘルスの取り組み**

○辻野 尚久

済生会横浜市東部病院精神科



17:10~17:50 **教育講演 5**

日→英 AI 翻訳あり

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック

EL5

**精神科診療所について**

○三木 和平

医療法人社団ラルゴ三木メンタルクリニック



17:50~18:30 **教育講演 6**

日→英 AI 翻訳あり

司会：松原 良次 特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院

EL6

**新たな地域医療構想における精神科医療**

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部



## 6月18日(木) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)

8:30~10:30 **シンポジウム 1 (精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会)**

日→英 AI 翻訳あり

**日本の精神科医療・保健福祉の未来を考える 2026**

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

SY1-1

**「わが国の精神科医療・保健福祉のあるべき姿について」の議論から**

○佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

SY1-2

**精神科急性期医療の今後のあるべき姿 「急性期治療のありかた検討委員会」からの報告**

○來住 由樹

岡山県精神科医療センター

SY1-3

**地域ケアにおける自立支援：精神科医療のパラダイムシフト**

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

SY1-4 慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会からの最終提言

○針間 博彦  
東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

10:40~12:40 会長企画シンポジウム 1 日→英 AI 翻訳あり  
信頼される精神科医療をめざして —社会への発信と対話を通じて—

司会：藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
田中 裕記 独立行政法人国立病院機構九州医療センター

PS1-1 「信頼される精神科医療」とは - 精神科医療のめざすべき目標について考える

○櫻木 章司  
医療法人桜樹会桜木病院

PS1-2 「信頼」の基盤としての身体的安全性：総合病院精神科が担う精神身体合併症対応と社会との対話

○田中 裕記<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター、  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

PS1-3 信頼される精神科医療を育てるといふ責任：大学病院精神科の教育と研究の役割

○田形 弘実  
東邦大学医学部精神神経医学講座

PS1-4 現場の創意工夫を社会の信頼へ繋ぐ —EBPMとPPIを基盤とした社会実装の推進—

○藤井 千代  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

PS1-5 精神科医療を他科医療と同質の政策構造に位置付けるための展望

○桐原 尚之  
全国「精神病」者集団

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

13:00~13:50 スポンサーレクチャー 2 英→日 AI 翻訳あり

司会：橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

SPL2 Improving the Lives of Patients with Generalised Anxiety Disorder: Moving Beyond the Reduction of Symptoms to Restore Daily Functioning

○Philip Gorwood  
GHU Paris Psychiatry and Neuroscience & University Paris Cité

共催：ヴィアトリス製薬合同会社



14:15~16:15

## 会長企画シンポジウム 2

日→英 AI 翻訳あり

### 次世代に伝える精神科医療の魅力——人材育成と未来像

司会：辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科  
片桐 直之 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

**PS2-1 精神科病院における人材育成と教育体制—多職種チーム内での教育実践と若手への継承—**

○澤 滋  
社会医療法人北斗会さわ病院

**PS2-2 次世代に伝える精神科医療の魅力—人材育成と未来像—精神科診療所の魅力とこれからの在り方**

○三木 和平  
医療法人社団ラルゴ三木メンタルクリニック

**PS2-3 総合病院精神科：研修医教育、精神科救急・身体合併症を含む現場からの発信**

○辻野 尚久  
済生会横浜市東部病院精神科

**PS2-4 統合的精神医療における臨床的対話**

○金 吉晴  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

**PS2-5 精神科医療への「入口」の拡張とキャリア発展の支援**

○金沢 徹文  
大阪医科薬科大学精神神経科

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科

16:30~18:30

## 会長企画シンポジウム 3

日→英 AI 翻訳あり

### 精神科医療の価値をどう可視化するか——診療報酬をめぐる対話

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

**PS3-1 精神科医療の価値はどのように評価されてきたのか —診療報酬改定の歩みとこれから—**

○林 修一郎  
厚生労働省保険局医療課

**PS3-2 令和8年度診療報酬改定と精神科医療への期待：日本医師会の立場から**

○黒瀬 巖  
公益社団法人日本医師会

**PS3-3 精神保健医療福祉の施策推進に関する方向性の進捗報告**

○長瀬 幸弘  
医療法人社団東京愛成会高月病院

**〔指定発言者〕**

北村 立  
石川県立こころの病院

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

## 6月18日(木) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30~10:30

### シンポジウム 2

産業医学研修会対象セッション

#### ハラスメントによる労働災害と精神障害

司会：山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学  
深澤 健二 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

SY2-1

#### ハラスメントに関する現状と制度

○木内 敬太

(独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター

SY2-2

#### セクシュアルハラスメントによる精神障害の実際-労災認定された精神障害事案解析を基に-

○高橋 有記

東海大学医学部総合診療学系精神科学

SY2-3

#### 職場でのハラスメント対応

○大林 知華子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>ちかメンタルクリニック、<sup>2</sup>Actwith 株式会社

SY2-4

#### ハラスメント対応のポイント—法的視点から

○小島 健一

鳥飼総合法律事務所

#### 【指定発言者】

吉川 徹

(独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター

〈メインコーディネーター〉 山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学

〈サブコーディネーター〉 吉川 徹 (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター

10:40~12:40

### シンポジウム 3

#### 社会を変える脳画像:日本発信の精神神経疾患脳MRI研究の国際展開と臨床応用

司会：小池 進介 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野  
岡田 剛 広島大学大学院医歯薬保健学研究科医学講座精神神経医科学

SY3-1

#### 日本独自の精神疾患脳MRI研究はどうあるべきか？

○小池 進介

東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野

SY3-2

#### 富山大学における精神症MRI研究の国際展開

○笹林 大樹<sup>1,2</sup>、小池 進介<sup>3</sup>、Kang Ik K Cho<sup>4</sup>、Lipeng Ning<sup>4</sup>、Ofer Pasternak<sup>4</sup>、  
Marek Kubicki<sup>4</sup>、高橋 努<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、<sup>2</sup>富山大学アイドリング脳科学研究センター、

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野、

<sup>4</sup>Psychiatry Neuroimaging Laboratory, Department of Psychiatry, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA



SY3-3

脳年齢とエピゲノム老化の統合的理解

○上田 一生<sup>1,3</sup>、舞草 伯秀<sup>1</sup>、洪川 周平<sup>1,4</sup>、池亀 天平<sup>2</sup>、小池 進介<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野、<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室、<sup>3</sup>信州大学医学部医療データサイエンス講座、<sup>4</sup>順天堂大学大学院保健医療学研究所

SY3-4

精神疾患を理解するための安静時fMRIとAI技術の活用

○山下 歩

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

SY3-5

安静時fMRIを用いたうつ病の客観的診断確立と層別化

○酒井 雄希<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>ATR脳情報通信総合研究所、<sup>2</sup>株式会社XNef

〔指定発言者〕

岡田 剛

広島大学大学院医歯薬保健学研究科医学講座精神神経医科学

〔指定発言者〕

五十嵐 江美

国立がん研究センター東病院精神腫瘍科

〈メインコーディネーター〉 小池 進介

東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野

〈サブコーディネーター〉 岡田 剛

広島大学大学院医歯薬保健学研究科医学講座精神神経医科学

13:00~13:50

スポンサードレクチャー 3

早期アルツハイマー病診療を考える

司会：田口 真源 大垣病院

SPL3-1

アミロイド陽性から始まるアルツハイマー病治療と薬効評価

○石井 賢二

東京都健康長寿医療センター研究所神経画像研究チーム

SPL3-2

早期アルツハイマー病の治療戦略

○新堂 晃大

三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学

共催：日本イーライリリー株式会社

14:15~16:15

シンポジウム 4

産業医と精神科医が考えるべき復職支援の課題と未来

産業医学研修会対象セッション

司会：五十嵐 良雄 メディカルケア虎ノ門

舟橋 利彦 医療法人明心会仁大病院

SY4-1

変化を続ける医療リワークについて

○横山 太範

医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

SY4-2

復職支援の課題と未来：企業内精神科医/精神科産業医の立場から

○奥山 真司

トヨタ自動車株式会社

SY4-3 リワークにもいろいろ 「医療リワーク」の進歩・エビデンス・安全性・経済性

○佐々木 一

医療法人社団爽風会心の風クリニック

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 五十嵐 良雄 メディカルケア虎ノ門  
舟橋 利彦 医療法人明心会仁大病院

16:30~18:30 シンポジウム5 (医療DXに関する委員会)

精神科臨床×AIの最前線:診断支援から治療応用、そして倫理的課題へ

司会: 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター  
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

SY5-1 認知症診療支援のためのSaMD開発 ~アカデミア発の研究開発から薬事承認・保険適用と海外展開まで~

○武田 朱公<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学、<sup>2</sup>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

SY5-2 統合失調症の病態に基づく診断支援AI医療機器プログラムの開発

○橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾病病態研究部

SY5-3 生成AIのメンタルヘルスケア活用における実装の試み —非医療領域からの実践知とガイドライン策定—

○小川 晋一郎

株式会社 Awarefy

SY5-4 診察室のShadow AI: 患者の自律的AI利用実態と変容する治療同盟のリアル

○加賀谷 隼輔

あすとながまち心身クリニック

SY5-5 AI4S (AI for Science) 時代のELSIとは

○横山 広美

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構

〈メインコーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

〈サブコーディネーター〉 木下 翔太郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座



## 6月18日(木) D会場(パシフィコ横浜ノース 2F G215)

9:00~17:00 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 1**  
マインドフルネス認知療法に取り組んでみる—理論と体験—

司会：佐渡 充洋 慶應義塾大学保健管理センター/慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

- PW1 <講演者> 佐渡 充洋 慶應義塾大学保健管理センター/慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- <ファシリテーター> 二宮 朗 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
樽谷 精一郎 特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院  
永岡 麻貴 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
佐々木 洋平 武蔵野大学人間科学部  
後藤 菜穂 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- <メインコーディネーター> 佐渡 充洋 慶應義塾大学保健管理センター/慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
<サブコーディネーター> 二宮 朗 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

## 6月18日(木) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G304)

8:30~10:30 **シンポジウム 6**  
マイレジストリ(精神疾患レジストリ)を活用した薬事承認の実現と展望

司会：中込 和幸 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

### SY6-1 マイレジストリ(精神疾患レジストリ)の概要と薬事承認について

○竹田 和良<sup>1</sup>、小居 秀紀<sup>2</sup>、橋本 亮太<sup>3</sup>、野田 隆政<sup>4</sup>、沖田 恭治<sup>4</sup>、保谷 岳彦<sup>1</sup>、岩田 正明<sup>5</sup>、  
鬼頭 伸輔<sup>6</sup>、久我 弘典<sup>7</sup>、古郡 規雄<sup>8</sup>、中込 和幸<sup>9</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部、  
<sup>2</sup>杏林大学医学部付属病院臨床研究センター、<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、  
<sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、<sup>5</sup>鳥取大学医学部脳神経医学講座精神行動医学分野、  
<sup>6</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>7</sup>国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、  
<sup>8</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>9</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

### SY6-2 マイレジストリを活用したけいれん療法用磁気刺激装置の研究開発：医師主導治験の進捗状況

○鬼頭 伸輔  
東京慈恵会医科大学精神医学講座

### SY6-3 マイレジストリを活用したプログラム医療機器承認への取り組み-CBTアプリ-

○久我 弘典  
国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

### SY6-4 大規模言語モデルを用いた精神疾患レジストリ非構造化データの定量化手法の開発

○今井 健<sup>1</sup>、香川 隆生<sup>1</sup>、竹田 和良<sup>2</sup>、中込 和幸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター医工情報学部門、  
<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

### SY6-5 マイレジストリにおけるPPI促進について

○沖田 恭治、山口 創生、川口 敬之、白井 香、中川路 太一、竹田 和良  
国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言者〕

大熊 ひとみ  
国立研究開発法人国立がん研究センター

〔指定発言者〕

田中 桜  
日本医療研究開発機構 (AMED) データ利活用・ライフコース研究開発事業部

〈メインコーディネーター〉 竹田 和良 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
〈サブコーディネーター〉 中込 和幸 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40~12:40 シンポジウム7  
社会の中のギフテッド特性と精神医療

司会：本田 秀夫 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室  
池澤 聡 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

SY7-1 ギフテッドの青年期への移行期におけるメンタルヘルス上の課題

○池澤 聡  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

SY7-2 ギフテッドに関する生物学的精神医学な視点からの検討

○山末 英典  
浜松医科大学精神医学講座

SY7-3 神経発達症の子どもの診療においてギフテッドに着目する意義

○本田 秀夫  
信州大学医学部子どものこころの発達医学教室

SY7-4 学校でのギフティッド児の支援：Silverman (2013) と教育課程部会の議論をもとに

○角谷 詩織  
上越教育大学

SY7-5 ギフテッド特性をもつ精神科患者の苦悩は何が違うのか：最新のテクノロジーの可能性

○熊崎 博一  
長崎大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言者〕

吉沢 択  
当事者

〔指定発言者〕

神庭 重信  
社会医療法人栗山会飯田病院／日本うつ病センター

〈メインコーディネーター〉 池澤 聡 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部  
〈サブコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室



14:50~18:20

**精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 2**

認知行動療法を体験しようーデジタル技術を活用した基礎ワークショップー

司会：梅本 育恵 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター  
三田村 康衣 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

PW2

〈講演者〉

久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター  
浜村 俊傑 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター  
三田村 康衣 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター  
梅本 育恵 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

〈メインコーディネーター〉 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター  
〈サブコーディネーター〉 浜村 俊傑 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

**6月18日(木) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303)**

8:30~10:30

**シンポジウム 8**

がんの再発恐怖-現実として死に直結する恐怖-に対する精神療法再考

司会：内富 庸介 東京慈恵会医科大学がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座  
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

SY8-1

**乳がん患者の再発恐怖に対するスマートフォン精神療法の有効性-多施設ランダム化比較試験**

○明智 龍男  
名古屋市立大学大学院医学研究科

SY8-2

**がんの再発恐怖に対する行動活性化療法**

○平山 貴敏  
こころサポートクリニック

SY8-3

**がんの再発恐怖に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT)**

○光定 博生  
国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院精神科

SY8-4

**がんの再発恐怖に対する外来森田療法**

○館野 歩  
東京慈恵会科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

10:40~12:40

**シンポジウム 9**

医療者が抱える陰性感情を考える～患者への負の感情に気づくには・気づいたらどうしたらいい?～

司会：射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター精神科  
福田 貴博 医療法人見松会あきやま病院

SY9-1

**若手精神科医が直面する陰性感情への気づきと対処法について**

○板東 ひろみ  
なぎまちメンタルクリニック

SY9-2 「感情を持っていい」ことに救われた看護師の体験

○阿部 かおり  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

SY9-3 心理師が利用者に抱く陰性感情への気づきと対応 —依存症回復施設におけるマインドフルネス実践から—

○小林 亜希子  
NPO法人マインドフルネス心理臨床センター

SY9-4 看護師・精神看護専門看護師・看護管理者の立場から ～立場の違い、関わりの違い～

○岩切 真砂子  
公益財団法人慈圭会慈圭病院

〔指定発言者〕

久我 弘典  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言者〕

崔 炯仁  
医療法人稲門会いわくら病院

〈メインコーディネーター〉 射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター精神科  
〈サブコーディネーター〉 田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院  
板東 ひろみ なぎまちメンタルクリニック

13:00～13:50 スポンサーレクチャー 4  
統合失調症LAI

司会：池田 匡志 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学

SPL4 未来の統合失調症治療を見据えたLAIの価値と可能性

○岩田 仲生  
藤田医科大学精神神経科学講座

共催：住友ファーマ株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

14:15～16:15 シンポジウム 10  
精神療法における症例検討の重要性を再考する

司会：北西 憲二 北西クリニック／森田療法研究所  
新村 秀人 大正大学臨床心理学部

SY10-1 「目的の王国」としての症例検討

○田所 重紀  
札幌医科大学精神医学講座

SY10-2 森田正馬の症例報告に学ぶ

○新村 秀人  
大正大学臨床心理学部

SY10-3 精神療法における症例検討の意義 —ユング派の立場から—

○林 公輔<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学環境情報学部、<sup>2</sup>信濃追分クリニック



SY10-4

歳月を要する精神分析体験・症例スーパービジョンから始まる精神分析家への道：精神分析のエビデンス構築

○加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〔指定発言者〕

北西 憲二

北西クリニック／森田療法研究所

〈メインコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学臨床心理学部

〈サブコーディネーター〉 北西 憲二 北西クリニック／森田療法研究所

16:30～18:30

シンポジウム 11

解離症の理解と治療：トラウマ関連解離の“score”をめぐる

司会：松本 俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
井上 悠里 医療法人豊仁会まな星クリニック

SY11-1

安全性に配慮した解離臨床の実際 ～心療内科医の立場から～

○鈴木 裕介

秋葉原saveクリニック

SY11-2

文化と解離のパラドックスー 社会文化的適応的解離（SCAD）の視点からー

○牧野 有可里

ソマティック・アプローチ・ジャパン

SY11-3

『解離の治療』を読み解くー心理療法の停滞を招く要因とその対処

○新谷 宏伸

明雄会本庄児玉病院

SY11-4

解離症治療における臨床アートセラピーの意義

○宮田 裕子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>医療法人三家クリニック、<sup>2</sup>DAGTP e.V.(ドイツ)

〔指定発言者〕

細澤 仁

フェルマータ・メンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 新谷 宏伸 医療法人社団明雄会本庄児玉病院

〈サブコーディネーター〉 井野 敬子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

## 6月18日(木) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

8:30~10:30

### シンポジウム 12

ヒューマノイドロボットが切り拓く精神医学の新しい処方せん

司会：大野 裕 長崎大学医学部精神神経科学教室／一般社団法人認知行動療法研修開発センター  
松本 吉央 東京理科大学先進工学部

SY12-1

#### 人ではなくロボットだからこそ担える精神科医療の役割

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

SY12-2

#### オープンスペースで精神科患者と日常的に対話するロボットの実現に向けて

○吉川 雄一郎

大阪大学大学院基礎工学研究科

SY12-3

#### 精神症状ロボット評価面接研究から考える先生転移・先生逆転移：しがらみから解放される未来の精神療法

○加藤 隆弘<sup>1</sup>、松島 敏夫<sup>2</sup>、松尾 敬太郎<sup>2</sup>、吉川 雄一郎<sup>3</sup>、熊崎 博一<sup>4</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、

<sup>3</sup>大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻、<sup>4</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学分野

SY12-4

#### ロボットを用いてハグすることの意義：治療関係構築のために

○住岡 英信

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

SY12-5

#### 現在の精神科医療の課題とロボットへの期待

○村松 太郎

JDC六番町メンタルクリニック

##### 【指定発言者】

新保 史生

慶應義塾大学総合政策学部

##### 【指定発言者】

神田 崇行

京都大学大学院情報学研究科

##### 【指定発言者】

笠井 清登

東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

吉川 雄一郎 大阪大学大学院基礎工学研究科



10:40~12:40

## シンポジウム 13

AIアライメントと精神病理学の交差点 - AI時代の逸脱する知とこころ

司会：山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部  
前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY13-1

### 対話型生成AIのメンタルヘルス応用の実態と社会実装にともなう課題

○高階 光梨<sup>1</sup>、姜 静愛<sup>1,2,3</sup>、武井 友紀<sup>1</sup>

<sup>1</sup>株式会社Awarefy こころの総合研究所、<sup>2</sup>新潟大学大学院現代社会文化研究科、<sup>3</sup>カウンセリングルーム Figlab

SY13-2

### AGIとオーガニックアライメント

○高橋 恒一<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>AIアライメントネットワーク、<sup>2</sup>理化学研究所

SY13-3

### 主体性の精神病理から考えるAI Psychosisとその予防方略

○前田 貴記

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY13-4

### 計算論的精神医学とAIアライメントの融合：「知能システム病態学」の創出に向けて

○山下 祐一

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

〈メインコーディネーター〉 山下 祐一

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

〈サブコーディネーター〉 前田 貴記

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

13:00~13:50

## スポンサードレクチャー 5

司会：小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座

SPL5

### 睡眠呼吸障害の合併が多い循環器疾患患者における不眠症治療

○葛西 隆敏

順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学

共催：エーザイ株式会社

14:15~16:15

## シンポジウム 14

次世代の精神医療に向けた新規の治療・評価法開発

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室  
高木 学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室

SY14-1

### 新規作用機序医薬品開発を目指した基礎臨床研究 ~難治性疾患への挑戦

○高木 学<sup>1</sup>、酒本 真次<sup>1</sup>、橋本 望<sup>2</sup>、樋之津 健二<sup>3</sup>、大矢 芳男<sup>4</sup>、浅田 貴大<sup>4</sup>、横出 晃能<sup>4</sup>

<sup>1</sup>岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学、<sup>2</sup>地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、

<sup>3</sup>岡山大学病院医療技術部総合リハビリテーション部門、<sup>4</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

SY14-2

### AI・ロボット・アバターを活用した精神科医療の新しい評価と治療—臨床応用への挑戦

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

**SY14-3 日本人の文化背景を考慮した社会認知評価法 ～当事者のニーズに着目して**

○内野 敬  
東邦大学医学部社会実装精神医学講座

**SY14-4 医薬品・医療機器の安全性・有効性の評価法 ～ドラッグロス解消を目指す**

○池澤 聰  
医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部／プログラム医療機器審査部

**SY14-5 向精神薬における「脱モノアミン」の流れ**

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

**〔指定発言者〕**

宮野 史也  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 内野 敬 東邦大学医学部社会実装精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室  
高木 学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室

16:30～18:30 **シンポジウム 15**  
**通信機器やメタバース空間を用いた精神医学的アプローチ～対面での治療・支援を超えて**

司会：横山 太範 医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ  
澤田 欣吾 東京大学相談支援研究開発センター

**SY15-1 医療用アプリ、特にメタバース空間を用いた臨床応用の現状と課題、そして可能性**

○松村 雅代  
株式会社 BiPSEE、高知大学医学部

**SY15-2 デジタル認知行動療法の社会実装の必要性**

○清水 栄司  
千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

**SY15-3 バーチャルリアリティによる身体とこころの拡張と精神医学領域における可能性**

○鳴海 拓志  
東京大学

**SY15-4 成人発達障害者を対象としたサイコドラマの治療実践について**

○横山 太範  
医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

**SY15-5 アクセス困難なひきこもり当事者および家族に対するメタバースやバーチャル・リアリティ（VR）の活用**

○加藤 隆弘  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 横山 太範 医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ  
〈サブコーディネーター〉 野村 健介 社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター



## 6月18日(木) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

### 9:50~12:30 ワークショップ1 (自殺予防に関する委員会) 複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部精神医学講座

WS1 <講演者> 張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座  
成田 賢治 札幌医科大学医学部精神医学講座  
石橋 竜太郎 札幌医科大学医学部精神医学講座

<メインコーディネーター> 河西 千秋 札幌医科大学医学部精神医学講座  
<サブコーディネーター> 張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

### 14:25~16:05 ワークショップ2 (精神療法研修委員会) 映像で学ぶ初診面接ー病識のない統合失調症編ー

司会：田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター  
岡村 斉恵 初石病院

WS2 <講演者> 今井 淳司 東京都立松沢病院精神科  
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
衛藤 暢明 福岡大学  
館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座

<メインコーディネーター> 今井 淳司 東京都立松沢病院精神科  
<サブコーディネーター> 田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科/合併精神センター

### 16:40~18:20 ワークショップ3 モズレイ式神経性やせ症治療(MANTRA)ワークショップ

司会：友竹 正人 徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野  
水原 祐起 みずはらクリニック/認定NPO法人SEEDきょうと

WS3 <講演者> 磯部 智代 浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科  
友竹 正人 徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野  
水原 祐起 みずはらクリニック/認定NPO法人SEEDきょうと  
中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学

<メインコーディネーター> 中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学  
<サブコーディネーター> 友竹 正人 徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野  
水原 祐起 みずはらクリニック/認定NPO法人SEEDきょうと

## 6月18日(木) | 会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

### 8:30~10:30 シンポジウム 16 PTSD 概念の臨床と脳科学の連携

司会：金 吉晴 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
岡野 憲一郎 本郷の森診療所／京都大学

#### SY16-1 PTSDの生物心理学回復モデル

○金 吉晴  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

#### SY16-2 解離の文脈から見たトラウマの脳科学的基盤

○岡野 憲一郎  
本郷の森診療所・京都大学

#### SY16-3 臨床と基礎の連携によるPTSDの分子病態解明と新規治療法開発

○堀 弘明  
国立精神・神経医療研究センター

#### SY16-4 睡眠中のトラウマ想起音刺激によるPTSDの新規治療法の開発

○坂口 昌徳<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学、<sup>2</sup>筑波大学、<sup>3</sup>国立精神神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 金 吉晴 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
〈サブコーディネーター〉 岡野 憲一郎 本郷の森診療所／京都大学

### 10:40~12:40 シンポジウム 17 森田療法的アプローチで斬る身体愁訴

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
新村 秀人 大正大学臨床心理学部／慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

#### SY17-1 身体症状症に対する森田療法の適応

○半田 航平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学西部医療センター、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座

#### SY17-2 「Medically Unexplained Symptomsのための10分間外来森田療法」の開発と実践

○田所 重紀  
札幌医科大学精神医学講座

#### SY17-3 鎮痛から〈生き方の回復〉へ：森田療法による難治性疼痛支援と文化精神医学的補助視点

○平林 万紀彦  
Heal オンラインカウンセリング

#### SY17-4 身体愁訴の発生に挑む森田療法と疼痛再処理療法 (PRT : Pain Reprocessing Therapy)

○眞島 裕樹<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>2</sup>慶應義塾大学マインドフルネス&ストレス研究センター

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学臨床心理学部／慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



13:00~13:50 スポンサーレクチャー 6

司会：古郡 規雄 獨協医科大学

SPL6 てんかんと睡眠の知識 ~高齢者の脳健康維持のために

○重藤 寛史

九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野／九州大学病院脳神経内科

共催：第一三共株式会社

14:15~16:15 シンポジウム 18

児童青年期のコンサルテーション・リエゾン精神医学：身体の臓器・疾患別の取組

司会：高橋 秀俊 高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター

SY18-1 小児悪性疾患の緩和ケア

○庄 紀子

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター

SY18-2 児童青年期の摂食症診療における施設間連携

○鈴木 太

上林記念病院

SY18-3 児童青年期におけるサイコカルディオロジーの取組

○疇地 道代

国立研究開発法人国立循環器病研究センター

SY18-4 児童青年期の腎不全・腎移植におけるリエゾンの役割

○押淵 英弘

東京女子医科大学医学部精神医学講座

SY18-5 災害時における子どものリエゾン診療の実際

○本田 教一

公益財団法人磐城済世会舞子浜病院

〈メインコーディネーター〉 高橋 秀俊 高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

〈サブコーディネーター〉 中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター

16:30~18:30 シンポジウム 19

精神科医療者に必修化される自殺予防教育

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部精神医学講座

大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY19-1 精神科医療者の自殺予防教育アプローチの重要性

○大塚 耕太郎<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座、<sup>2</sup>岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、<sup>3</sup>岩手県こころのケアセンター

SY19-2 精神科医療者に求められる自殺予防教育とはーがん専門病院に勤務する精神科医の立場からー

○大西 秀樹

埼玉医科大学国際医療センター

SY19-3

### 10 Essentialsプログラムの開発と実装について

○成田 賢治<sup>1</sup>、河西 千秋<sup>1</sup>、津山 雄亮<sup>1</sup>、柏木 智則<sup>1</sup>、石橋 竜太郎<sup>1</sup>、張 賢徳<sup>2</sup>、大塚 耕太郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

<sup>3</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY19-4

### 看護における自殺予防教育の現状と課題

○小山 達也

東京医科大学医学部看護学科

SY19-5

### 自殺予防教育の在り方：多職種による入院患者の自殺予防とポストベンションのための研修会

○河西 千秋

札幌医科大学医学部精神医学講座

#### 〔指定発言者〕

平川 淳一

医療法人社団光生会平川病院

〈メインコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学医学部精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

## 6月18日(木) J会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30

### シンポジウム 20

#### 社会に発信する精神科診断はいかにあるべきか

司会：松永 寿人 兵庫医科大学医学部精神科神経科講座  
井原 裕 獨協医科大学埼玉医療センター

SY20-1

### 精神科医のSNS利用における倫理的諸問題：今、我々が精神科医たちに何を伝えるべきか

○松崎 朝樹

筑波大学医学医療系精神医学

SY20-2

### アディクションの場合～依存と依存症を区別する

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

SY20-3

### 「なんでも『発達障害』問題」について考える

○本田 秀夫

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室

SY20-4

### 産業領域に発信される適応障害という診断

○宮岡 等<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北里大学、<sup>2</sup>医薬品医療機器総合機構

#### 〔指定発言者〕

井原 裕

獨協医科大学埼玉医療センター

〈メインコーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学医学部精神科神経科講座



10:40~12:40 シンポジウム 21  
神経免疫学と精神科学のクロストーク

司会：神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構  
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

SY21-1 抗腫瘍免疫療法と自己免疫性脳炎

○田中 恵子、川村 名子、阿部 学  
福島県立医科大学・新潟大学脳研究所

SY21-2 自己免疫性脳炎と精神疾患の連続性

○高木 学<sup>1</sup>、酒本 真次<sup>1</sup>、樋之津 健二<sup>2</sup>、大矢 芳男<sup>3</sup>、浅田 貴大<sup>3</sup>、横出 晃能<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学、<sup>2</sup>岡山大学医療技術部総合リハビリテーション部、  
<sup>3</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室

SY21-3 神経シナプス自己抗体からみた精神疾患と神経疾患の境界領域

○塩飽 裕紀  
東京科学大学精神行動医科学分野

SY21-4 自己免疫性脳炎から紐解く精神疾患の病態：抗体・画像・バイオマーカーによる多角的アプローチ

○千葉 悠平<sup>1,2</sup>、阿部 紀絵<sup>2</sup>、服部 早紀<sup>2</sup>、伊倉 崇浩<sup>2</sup>、齋藤 知之<sup>2,6</sup>、勝瀬 大海<sup>2</sup>、須田 顕<sup>2</sup>、  
藤城 弘樹<sup>3</sup>、高橋 幸利<sup>4</sup>、西野 精治<sup>5</sup>、浅見 剛<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>積愛会横浜舞岡病院、<sup>2</sup>横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室、  
<sup>3</sup>名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心理学分野、<sup>4</sup>静岡てんかん・神経医療センター、  
<sup>5</sup>スタンフォード大学医学部精神医学、<sup>6</sup>よりどころメンタルクリニック桜木町

SY21-5 実臨床における自己免疫性脳炎の診断と精査

○筒井 幸<sup>1,2,3</sup>、加藤 倫紀<sup>1</sup>、加藤 征夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>特定医療法人祐愛会加藤病院精神科、<sup>2</sup>平鹿総合病院心療センター、<sup>3</sup>秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

〈メインコーディネーター〉 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学  
〈サブコーディネーター〉 神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構  
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

13:00~13:50 スポンサーレクチャー 7

司会：宮内 和瑞子 医療法人医学生会宮内クリニック

SPL7 精神疾患患者における慢性便秘症診療のポイント

○中島 淳  
国際医療福祉大学熱海病院

共催：EA ファーマ株式会社

14:15~16:15 シンポジウム 22  
児童虐待通告後のデジタルハラスメント：医療従事者への二次的トラウマと保護体制の構築

司会：田中 英三郎 東京大学相談支援研究開発センターキャンパスウェルビーイング推進分野  
岩井 圭司 大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科

SY22-1 児童虐待通告後のデジタルハラスメント：医療従事者への二次的トラウマと問題の構造化

○大谷 恭平  
地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科

SY22-2 医療者へのデジタルハラスメントとその心理社会的影響に関する展望

○田中 英三郎

東京大学相談支援研究開発センターキャンパスウェルビーイング推進分野

SY22-3 医療従事者支援の制度設計：“萎縮医療”を超えるための制度と倫理

○岩井 圭司

大阪人間科学大学人間科学部

SY22-4 小児病院における虐待対応とスタッフ支援の実際

○池田 真希子<sup>1</sup>、窪田 満<sup>2</sup>、植松 悟子<sup>3</sup>、山口 麻子<sup>4</sup>

<sup>1</sup>国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部こころの診療科、<sup>2</sup>国立成育医療研究センター総合診療部、  
<sup>3</sup>国立成育医療研究センター救急診療部、<sup>4</sup>国立成育医療研究センター医療連携・患者支援センター

SY22-5 通告を行う小児科医からみた現場の実際と葛藤

○毎原 敏郎

兵庫県立尼崎総合医療センター

〈メインコーディネーター〉 田中 英三郎 東京大学相談支援研究開発センターキャンパスウェルビーイング推進  
分野

〈サブコーディネーター〉 大谷 恭平 地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科

16:30~18:30 シンポジウム 23

理念から実践へ：当事者中心の医療をどう根づかせるか — 制度・現場・生活の三層から考える

司会：石井 美緒 横浜市立大学医学部精神医学教室

SY23-1 当事者性の回復を目指す非同意治療の実際 — 山梨県立北病院における非同意治療審査システムの経験 —

○三澤 史斉

山梨県立北病院

SY23-2 精神科病院における行動制限最小化について当事者とともに考える

○三宅 美智

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

SY23-3 リエゾンとアウトリーチ：応答する精神医学

○熊倉 陽介

東京大学医学部附属病院

〔指定発言者〕

杉山 直也

公益財団法人復康会沼津中央病院

〈メインコーディネーター〉 石井 美緒 横浜市立大学医学部精神医学教室

〈サブコーディネーター〉 熊倉 陽介 東京大学医学部附属病院精神神経科



## 6月18日(木) K会場(パシフィコ横浜ノース 3F G320)

### 8:30~10:30 シンポジウム 24 変化する社会の中で若手精神科医はいかにキャリアを選ぶか

司会：山口 博行 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部  
錫谷 研 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

#### SY24-1 児童精神科を「進路候補」にした転機—専攻医の経験から

○春本 克太  
紀南こころの医療センター

#### SY24-2 若手精神科医が摂食症を専門として選ぶとき—動機と持続可能なキャリア形成—

○宮野 史也<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>2</sup>認定NPO法人日本若手精神科医の会

#### SY24-3 精神科てんかん学というサブスペシャリティー不確実な時代に「脳」と「心」の境界を診るキャリアデザイナー—

○砂原 真理子、倉持 泉、丸山 友佑、斉藤 聡志、谷口 豪  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

#### SY24-4 若手精神科医にとっての依存症診療という選択

○北岡 淳子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>垂水病院、<sup>2</sup>日本若手精神科医の会

#### SY24-5 変容する社会で若手精神科医が見出す認知症診療の専門性とキャリア選択

○山口 博行<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部、<sup>2</sup>横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室

#### 【指定発言者】

松坂 雄亮  
長崎県精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 山口 博行 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部  
〈サブコーディネーター〉 倉持 泉 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部  
錫谷 研 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

### 10:40~12:40 シンポジウム 25 (PCN Reports 編集委員会) 英語論文の最初の一步として、英文でCase Reportを書こう

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座  
稲川 優多 自治医科大学精神医学講座

#### SY25-1 初めての英語症例報告に挑んで：専攻医の実践報告

○山内 春佳  
自治医科大学精神医学講座

#### SY25-2 論文を添削するベテラン指導医の立場から～指導医はあなたの「壁」ではなく「伴走者」である～

○塩田 勝利  
自治医科大学こころのケアセンター・精神科

SY25-3 はじめての英文 Case Report はこうして書いた —海外ジャーナル投稿の経験から—

○村瀬 雄士  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY25-4 Case Report を書いて投稿してみよう

○川俣 安史  
獨協医科大学精神神経医学講座

【指定発言者】

明智 龍男  
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

【指定発言者】

古郡 規雄  
獨協医科大学精神神経医学講座

〈メインコーディネーター〉 須田 史朗 自治医科大学精神医学講座  
〈サブコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野  
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

14:15~16:15 シンポジウム 26 (卒前医学教育・卒後臨床研修委員会)  
医学生・研修医に対する精神科医の教育力向上を目指して

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座  
河野 美帆 医療法人一誠会都城新生病院

SY26-1 医師養成のための卒前教育と卒後研修の継続性

○植野 司<sup>1</sup>、藤田 博一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター、<sup>2</sup>高知大学医学部附属医学教育創造センター

SY26-2 精神科七者懇談会による臨床研修指導医養成講習会

○尾関 祐二  
滋賀医科大学精神医学講座

SY26-3 医学教育を学ぶための各種トレーニングコース

○松坂 雄亮<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>長崎県精神医療センター、<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座精神神経科学

SY26-4 医学教育理論を活用した精神医学教育の実践

○中瀧 理仁  
徳島大学病院精神科神経科

【指定発言者】

植野 司  
京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター

〈メインコーディネーター〉 松坂 雄亮 長崎県精神医療センター  
〈サブコーディネーター〉 尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座  
須田 史朗 自治医科大学精神医学講座



16:30~18:30 **シンポジウム 27 (性別不適合に関する委員会)**  
**性別不適合と社会参加 — 当事者が語る困難と希望 —**

司会：中山 浩 川崎市南部児童相談所  
近藤 歩 gid.jp

**SY27-1 性別に違和感をもつ子どもを取り巻く環境**

○康 純  
関西大学保健管理センター

**SY27-2 精神科で性別について相談できない人々の声と支援の好事例について**

○桂木 祥子  
NPO法人QWRC

**SY27-3 近時の司法判断を踏まえた法的性別変更をめぐる法制度の現状と課題**

○水谷 陽子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>ミッレ・フォーリエ法律事務所、<sup>2</sup>愛知県弁護士会

**SY27-4 トランスジェンダーをめぐる社会状況と当事者運動**

○野宮 亜紀  
Tネット

〈メインコーディネーター〉 中山 浩 川崎市南部児童相談所  
〈サブコーディネーター〉 近藤 歩 gid.jp

**6月18日(木) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G404)**

9:00~12:30 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 3**  
**精神分析的な精神療法を治療者として体験してみよう**

司会：衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室  
中村 浩平 ころころホスピタル草津

PW3	〈講演者〉	加茂 聡子 四谷こころのクリニック 池田 暁史 大正大学／個人開業 藤山 直樹 個人開業
	〈ファシリテーター〉	加茂 聡子 四谷こころのクリニック 中村 浩平 ころころホスピタル草津 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室 原田 康平 福岡大学医学部精神医学教室 田中 克昌 有馬病院
	〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学／個人開業 〈サブコーディネーター〉 加茂 聡子 四谷こころのクリニック	

14:50~18:20 **精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ 4**  
内観療法の技法と体験

司会：堀井 茂男 公益財団法人慈圭会慈圭病院  
長田 清 長田クリニック

PW4	〈講演者〉	堀井 茂男 公益財団法人慈圭会慈圭病院 塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院 笹野 友寿 旭川荘総合研究所 海野 順 医療法人社団光風会三光病院 小澤 寛樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科国際・地域精神保健科学分野
	〈ファシリテーター〉	清水 康弘 瞑想の森内観研修所 平野 大己 さわやかメンタルサポート 波刃 伴和 九州大学病院心療内科 高橋 美保 東京大学大学院教育学研究科 阿保 周子 津軽内観研修所 吉本 千弦 大和内観研修所
	〈メインコーディネーター〉	塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院
	〈サブコーディネーター〉	長田 清 長田クリニック

**6月18日(木) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403)**

8:30~10:30 **シンポジウム 28**  
軽度知的障害、境界知能の実態と支援を考える

司会：古荘 純一 青山学院大学／昭和医科大学  
岩波 明 昭和医科大学医学部精神医学教室

SY28-1 **医療機関を受診する知的障害境界例の様々な困難さに関する検討**

○古荘 純一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>青山学院大学、<sup>2</sup>昭和医科大学

SY28-2 **学校教育における境界知能（BFI）の児童の支援ニーズの検討**

○橋本 創一  
東京学芸大学

SY28-3 **成人期の境界知能者の課題と支援**

○梅永 雄二  
早稲田大学

SY28-4 **市原青年矯正センターにおける取組～少年院から「若年受刑者処遇」のための新たな刑事施設へ～**

○稗田 崇  
現 川越少年刑務所・前 市原青年矯正センター

**〔指定発言者〕**

岩波 明  
昭和医科大学医学部精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 古荘 純一 青山学院大学／昭和医科大学  
〈サブコーディネーター〉 岩波 明 昭和医科大学医学部精神医学教室



10:40～12:40

**シンポジウム 29 (研究倫理委員会)**

日本精神神経学会倫理教育研修会対象セッション

**医学研究における当事者参画～当事者・研究者の相互理解を目指して～**

司会：夏莉 郁子 やきつべの径診療所精神科  
飯島 祥彦 藤田医科大学医療法・医療倫理学

**SY29-1 患者・市民参画をめぐる諸課題と研究者の構え**

○川口 敬之、山口 創生  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

**SY29-2 生物学的精神医学研究におけるPPIの可能性**

○柳下 祥  
東京大学

**SY29-3 精神医学領域における当事者参画 (PPI) の実装と課題**

○彼谷 哲志<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>特定非営利活動あすなろ、<sup>2</sup>三田市障害者総合相談窓口きいてネット

**SY29-4 患者・市民参画 (PPI) を前進させる当事者主導型研究の実装モデル：DIARYプロジェクト報告**

○山田 悠平  
一般社団法人精神障害当事者会ボルケ

**SY29-5 意味のある「参画」のために何をすべきか**

○武藤 香織<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京大学医科学研究所、<sup>2</sup>理化学研究所生命医科学研究センター

**〔指定発言者〕**

飯島 祥彦  
藤田医科大学医療法・医療倫理学

〈メインコーディネーター〉 夏莉 郁子 やきつべの径診療所精神科  
〈サブコーディネーター〉 飯島 祥彦 藤田医科大学医療法・医療倫理学

※参加された方のうち希望者に「倫理教育研修会修了証」を発行いたします。  
※本研修は、専門医機構認定専門医の更新に必須とされる共通講習「医療倫理」ではありません。

14:25～16:05

**ワークショップ 4 (性別不合に関する委員会)**

**性別不合に関する診断と治療のガイドラインに準拠した診療 ～精神科領域の診療と日本GI学会認定施設～**

司会：織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック／医療法人桐葉会木島病院  
入澤 聡 医療法人入澤会いりさわ心と体のクリニック

WS4

〈講演者〉 早馬 俊 医療法人南山会横浜メンタルクリニック戸塚  
松岩 七虹 医療法人桐葉会きじまこころクリニック  
中塚 幹也 岡山大学大学院保健学研究科  
佐武 利彦 富山大学学術研究部医学系形成再建外科・美容外科

〈メインコーディネーター〉 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック／医療法人桐葉会木島病院

16:40～18:20 **ワークショップ5 (認知症委員会)**  
認知症の人の意思決定支援

司会：橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室  
梅田 寿美代 住友病院メンタルヘルス科

WS5 <講演者> 成本 迅 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学  
小川 朝生 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院  
小原 知之 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野  
稲生 宏泰 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院／東京大学医学部医学系研究科医療倫理学教室

<メインコーディネーター> 梅田 寿美代 住友病院メンタルヘルス科  
<サブコーディネーター> 橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室

6月18日(木) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401+G402)

8:30～9:10 **教育講演7** 日→英 AI 翻訳あり

司会：安藝 森央 京都大学医学部附属病院精神科神経科

EL7 **摂食障害の精神・心理面にアクセスするには～「まず身体」の次は何か～**

○西園 マーハ 文  
明治学院大学心理学部心理学科



9:10～9:50 **教育講演8** 日→英 AI 翻訳あり

司会：池田 匡志 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学

EL8 **精神療法のエッセンスー了解と心の共鳴ー**

○古茶 大樹  
聖マリアンナ医科大学神経精神科



9:50～10:30 **教育講演9** 日→英 AI 翻訳あり

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学

EL9 **忙しい日常臨床で共同意思決定 (Shared Decision Making : SDM) をより実践しやすくするためには**

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室





10:40~11:40 特別講演 3

日→英 AI 翻訳あり

司会：八木 淳子 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SL3

生きづらさを抱える子どもたちの社会適応支援における課題と可能性—コグトレから作業療法、森田療法まで—

○宮口 英樹  
高知健康科学大学



11:40~12:50 特別講演 4

英→日 AI 翻訳あり

Basaglia Law and Deinstitutionalisation in Italy

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル  
村上 雅昭 明治学院大学

SL4-1

Basaglia Law and Deinstitutionalisation in Italy: Toward Community Mental Health

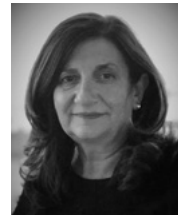
○Massimo Casacchia<sup>1</sup>, Laura Giusti<sup>1</sup>, Silvia Mammarella<sup>1</sup>, Rita Roncone<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>Department of Life, Health and Environmental Sciences, University of L'Aquila, Italy, Italy,  
<sup>2</sup>University Unit Rehabilitation Treatment Early Interventions in Mental Health - San Salvatore Hospital L'Aquila, Italy, Italy



SL4-2

From Basaglia's Reform to Recovery: The Evolution of Italian Community Psychiatry

○Rita Roncone<sup>1,2,3</sup>, Laura Giusti<sup>1,3</sup>, Silvia Mammarella<sup>1,3</sup>, Dalila De Luca<sup>1</sup>,  
Anna Salza<sup>2</sup>, Alessandra Cavicchio<sup>1</sup>, Donatella Ussorio<sup>1</sup>,  
Massimo Casacchia<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>Department of Life, Health and Environmental Sciences, University of L'Aquila, Italy, Italy,  
<sup>2</sup>University Unit Rehabilitation Treatment Early Interventions in Mental Health , ASL 1  
Region Abruzzo - San Salvatore Hospital L'Aquila, Italy, Italy,  
<sup>3</sup>Counseling and Consultation Service for Students of the University of L'Aquila, Italy, Italy



14:15~15:15 特別講演 5

英→日 AI 翻訳あり

司会：深澤 隆 医療法人財団青仁会青南病院

SL5

Traditions, Competencies, Shared Challenges: Psychiatric Education in Europe as a Living Laboratory

○Andrea Raballo  
Università della Svizzera Italiana (USI), Faculty of Biomedicine, Switzerland / Cantonal Sociopsychiatric Organization (OSC), Department of Health and Social Care (DSS), Cantone Ticino, Switzerland / REMEDI (Rethinking Mental health through Clinical and Data Intelligence) Lab, Euler Institute, USI, Switzerland



15:15~16:15 **特別講演 6**

英→日 AI 翻訳あり

司会：池田 匡志 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学

SL6

### Challenging the Concept of Anorexia Nervosa as a Metabo-psychiatric Disorder

○Philip Gorwood  
GHU Paris Psychiatry and Neuroscience & University Paris Cité, France



16:30~17:30 **先達に聴く 1**

日→英 AI 翻訳あり

司会：内田 裕之 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

PM1

### 前頭葉機能障害の神経心理学的研究

○鹿島 晴雄  
慶應義塾大学医学部 / 中山病院



17:30~18:30 **特別講演 7 (日本医師会医学賞 受賞記念講演)**

日→英 AI 翻訳あり

司会：村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科精神医学

SL7

### 双極症の神経基盤の解明

○加藤 忠史  
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学



## 6月18日(木) O会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30~10:30 **シンポジウム 30**

腎不全医療におけるサイコネフロロジーと緩和ケアの展望

司会：竹内 崇 東京科学大学病院精神科  
桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

SY30-1

### サイコネフロロジーからみた腎不全緩和ケア：オーバービュー

○西村 勝治  
医療法人寛裕会浜野ホスピタル

SY30-2

### 腎不全医療におけるサイコネフロロジーと緩和ケアの展望 —公認心理師の立場から—

○高野 公輔  
明治学院大学心理学部心理学科

SY30-3

### 無床血液透析クリニックにおける精神科医療と腎不全緩和ケア

○大内 雄太  
医療法人美之会青空クリニック



**SY30-4 総合病院における腎緩和ケアに対する精神科リエゾンの実践**

○岡 文恵  
日本赤十字社医療センターメンタルヘルス科

**SY30-5 腎不全緩和ケアにおけるサイコネフロロジーの展望～緩和ケア医・腎臓内科医の立場から～**

○大武 陽一  
たけお内科クリニックからだと心の診療所

〈メインコーディネーター〉 岡 文恵 日本赤十字社医療センターメンタルヘルス科  
〈サブコーディネーター〉 竹内 崇 東京科学大学病院精神科  
桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

10:40～12:40 **シンポジウム 31**  
**統合失調症薬物治療ガイドライン2027:進捗報告**

司会：竹内 啓善 千葉大学大学院医学研究院精神医学  
嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

**SY31-1 統合失調症薬物治療ガイドライン2027：作成体制と治療計画の策定**

○竹内 啓善  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

**SY31-2 第2章「統合失調症の維持期」、第4章「抗精神病薬の副作用」の進捗状況**

○堀 輝  
福岡大学医学部精神医学教室

**SY31-3 第1章「統合失調症の急性期」における進捗報告**

○嶽北 佳輝  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

**SY31-4 第3章「治療抵抗性統合失調症」、第5章「クロザピンの副作用」**

○三浦 至  
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

**SY31-5 第6章「統合失調症の各症状」／第7章「注意すべき病態」：進捗報告**

○坪井 貴嗣  
杏林大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 竹内 啓善 千葉大学大学院医学研究院精神医学

14:15～16:15 **シンポジウム 32**  
**今、あらためて統合失調症の社会機能長期予後を考える**

司会：國井 泰人 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野  
森 湧平 福島県立医科大学神経精神医学講座

**SY32-1 統合失調症の長期予後研究の歴史とこれまでのエビデンス**

○森 湧平  
福島県立医科大学神経精神医学講座

**SY32-2 統合失調症の長期予後に関する薬物療法の展望**

○嶽北 佳輝  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

**SY32-3 社会機能の改善を目指した認知機能障害への非薬物療法的アプローチ**

○橋本 直樹  
北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

**SY32-4 精神疾患におけるバイオマーカーとしての側脳室体積と社会的予後との関連**

○松本 純弥<sup>1</sup>、安田 由華<sup>1,2</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、  
<sup>2</sup>医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック

**〔指定発言者〕**

丹羽 真一  
福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 國井 泰人 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野  
〈サブコーディネーター〉 森 湧平 福島県立医科大学神経精神医学講座

16:30~18:30 **シンポジウム 33**

**統合失調症の認知機能障害改善を目指す臨床研究の現状と課題：最新の神経生物学的知見にもとづく展望**

司会：住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／ナショナルセンター医療研究連携推進本部  
根本 隆洋 東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

**SY33-1 統合失調症における認知リハビリテーションの現状と展望**

○根本 隆洋<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座

**SY33-2 統合失調症の認知機能は、抗精神病薬により改善するのか、悪化するのか**

○竹内 啓善  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

**SY33-3 非侵襲的脳刺激による統合失調症の認知機能障害に対する治療法開発の試み**

○山田 悠至<sup>1,2</sup>、住吉 太幹<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、<sup>3</sup>ナショナルセンター医療研究連携推進本部

**SY33-4 側脳室体積拡大と認知機能障害を伴う精神疾患の認知機能プロフィール**

○松本 純弥<sup>1</sup>、安田 由華<sup>1,2</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、  
<sup>2</sup>医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック

**SY33-5 統合失調症における脳波指標と認知機能障害との関連**

○越山 太輔、塩田 怜士、岸上 泰己、切原 賢治、笠井 清登  
東京大学医学部附属病院精神神経科

**〔指定発言者〕**

住吉 太幹  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／ナショナルセンター医療研究連携推進本部

〈メインコーディネーター〉 住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／ナショナルセンター医療研究連携推進本部



6月18日(木) P会場(パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417)

8:30~10:30

シンポジウム 34

精神科患者の医療および福祉のニーズに順応するための地域における包括的支援マネジメントの実態

司会：木村 大 学会会木村病院精神科  
山口 創生 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY34-1 地域における精神科包括的支援マネジメントの実態調査

○木村 大<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>学会会木村病院精神科、<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院精神医学教室、<sup>3</sup>国際医療福祉大学医学部精神医学

SY34-2 訪問機能を有する多機能型精神科診療所での包括的支援マネジメントの実態と課題

○渡邊 真里子

ちはやACTクリニック

SY34-3 松沢病院における包括的支援マネジメントの実践ー入退院支援とアウトリーチを通じた地域定着への取り組みー

○西 宏隆

地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

SY34-4 精神科外来における患者ニーズの変容と包括的マネジメントの展開

○黒岡 真澄

岡山県精神科医療センター

〔指定発言者〕

川副 泰成

総合病院国保旭中央病院

〈メインコーディネーター〉 木村 大 学会会木村病院精神科

〈サブコーディネーター〉 山口 創生 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40~12:40

Fellowship Award Symposium 1 (国際委員会)

Early Intervention for Mental Disorders

(精神疾患の早期介入)

Chairperson : Yuka Fujimoto Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Graduate School of and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo

FAS1-1 Mapping the Ecosystem of Early Mental Health Intervention in Türkiye: Advances, Challenges, and Future Directions

○Umut Kirli

Department of Drug Abuse, Institute on Drug Abuse, Toxicology and Pharmaceutical Science, Ege University, Turkey

FAS1-2 Lesson Learned from Being the First Psychiatrist in Buton Island

○Musfiqoh Tusholehah

RSUD Labuan, Indonesia

FAS1-3 Mind Matters Early: Early Detection and Intervention for Mental Disorders in Switzerland

○Valentina Basile

Cantonal Sociopsychiatric Organisation, Switzerland

**FAS1-4** How Should Early Intervention for Mental Illness Be Carried Out in Areas with Insufficient Psychiatric Medical Institutions?

○Ken Suzutani

Department of Psychiatry, Aizu Medical Center, Fukushima Medical University, Japan

〈メインコーディネーター〉 田鎖 遥  
〈サブコーディネーター〉 安藝 森央

神奈川県立精神医療センター  
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

14:15~16:15 **Fellowship Award Symposium 2 (国際委員会)**  
**Early Intervention for Mental Disorders**  
(精神疾患の早期介入)

Chairperson : **Akihito Uezato** Center for Basic Medical Research, International University of Health and Welfare

**FAS2-1** Connected and Tailored Care - Opportunities for Enhanced Early Intervention in Australia and Beyond

○Rahul Khanna

Phoenix Australia, Psychiatry, University of Melbourne, Australia

**FAS2-2** Early Intervention for Mental Disorders in Spain: Current Strategies, Barriers, and Future Directions

○Michele De Prisco

Bipolar and Depressive Disorders Unit, Hospital Clinic de Barcelona, Spain

**FAS2-3** Development of Early Interventions in Countries in Development

○Sabina Kucukalic

Department of Psychiatry, Clinical Center University of Sarajevo, Bosnia-Herzegovina

**FAS2-4** Early Intervention for Mental Disorders in Adolescent and Young Adult (AYA) Populations Affected by Cancer: Clinical and Research Implications

○Testuro Ishida

Sapporo Royal Hospital, Department of Psychiatry, Japan

〈メインコーディネーター〉 田鎖 遥  
〈サブコーディネーター〉 安藝 森央

神奈川県立精神医療センター  
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

16:30~18:30 **Fellowship Award Symposium 3 (国際委員会)**  
**Early Intervention for Mental Disorders**  
(精神疾患の早期介入)

Chairperson : **Junko Kitaoka** Public Interest Incorporated Foundation Fukkokuai Tarumi Hospital

**FAS3-1** Early Intervention for AI Psychosis

○Hamilton Morrin

King's College London, Institute of Psychiatry, Psychology & Neuroscience, United Kingdom

**FAS3-2** Bridging the Gap: Implementing Community-Based Psychiatric Care in Belgium

○Thomas P. Van Der Poorten

Brussels Mental Health Center, Belgium



FAS3-3

Challenges to Early Intervention in Adolescent and Young Adult Mental Health: A Nigerian Perspective

○Ehiaghe J. Aigbomian

Department of Psychiatry, University of Calabar Teaching Hospital, Nigeria

FAS3-4

Promoting Early Detection and Intervention for Addiction in Japanese Youth

○Hajime Kakuto

Tohokukai Hospital, Tohokukai Medical Corporation, Japan

〈メインコーディネーター〉 田鎖 遥

神奈川県立精神医療センター

〈サブコーディネーター〉 安藝 森央

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

6月18日(木) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

8:30~10:30

シンポジウム 35 (男女共同参画委員会)

日本精神神経学会の男女共同参画はすすんだのか

司会：布施 泰子 茨城大学保健管理センター  
渡辺 雅子 新宿神経クリニック

SY35-1

日本精神神経学会男女共同参画委員会のこれまでとこれから

○布施 泰子

茨城大学保健管理センター

SY35-2

日本精神神経学会における男女共同参画の現状と課題：データに基づく概観

○高橋 優輔

東京大学医学部附属病院精神神経科

SY35-3

精神科医療における持続可能な就労環境の構築に向けて ―小児医療における経験から―

○三宅 和佳子

兵庫県こころのケアセンター

SY35-4

精神科医の仕事観と生活との調和にみる多様性～働き方改革時代のワークライフバランス調査より～

○清水 俊宏<sup>1,2</sup>、安藝 森央<sup>2,3</sup>、入来 晃久<sup>2,4</sup>、大木 絵美梨<sup>2,5</sup>、大矢 希<sup>2,6</sup>

<sup>1</sup>埼玉県立精神医療センター、<sup>2</sup>認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会、

<sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)、

<sup>4</sup>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター、<sup>5</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、

<sup>6</sup>京都第二赤十字病院

〔指定発言者〕

富岡 有紀子

徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

〈メインコーディネーター〉 布施 泰子

茨城大学保健管理センター

〈サブコーディネーター〉 渡辺 雅子

新宿神経クリニック

10:40~12:40 **シンポジウム 36 (親子・学校・女性の精神保健に関する委員会)**  
**女性のメンタルヘルス支援の現在地とこれから～女性が尊厳と主体性を持って生きるために～**

司会：菊地 紗耶 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野  
平山 哲 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター

**SY36-1 女性のメンタルヘルスをめぐる現状と社会的背景**

○菊地 紗耶  
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

**SY36-2 周産期メンタルヘルス支援の現在地と今後の課題**

○須田 哲史  
国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科

**SY36-3 性暴力被害女性のメンタルヘルス支援と精神科医の役割**

○古橋 功一  
藤田医科大学医学部精神神経科学講座

**SY36-4 女性総合診療センターにおける女性精神科の役割**

○久保田 智香  
国立成育医療研究センター

**〔指定発言者〕**

二宮 貴至  
浜松市精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 菊地 紗耶 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野  
〈サブコーディネーター〉 二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター

14:15~16:15 **シンポジウム 37 (ガイドライン検討委員会)**  
**日本精神神経学会の診療ガイドラインに対する取り組み：質の担保とPPIを核にした実装科学の未来地図**

司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座  
橋本 亮太 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

**SY37-1 精神科診療ガイドラインの意義と課題 —エビデンスと個別性の統合を目指して—**

○尾崎 紀夫  
名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

**SY37-2 精神科医における診療ガイドラインの評価と活用状況に関する調査**

○福本 健太郎<sup>1</sup>、橋本 亮太<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

**SY37-3 良質な診療ガイドラインの作成に向けて：うつ病診療ガイドラインでの取り組み**

○中川 敦夫  
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

**SY37-4 診療ガイドラインの普及と教育の最前線**

○橋本 亮太  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部



SY37-5

**精神科領域の診療ガイドラインにおける患者市民参画の現在地**

○市橋 香代  
東京大学医学部附属病院

**〔指定発言者〕**

三村 将  
慶應義塾大学予防医療センター

**〔指定発言者〕**

村井 俊哉  
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

〈メインコーディネーター〉 中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座  
〈サブコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室  
橋本 亮太 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

16:30~18:30

**シンポジウム 38**

**高齢者の精神療法:現代高齢者の不安をどう扱うか**

司会：北西 憲二 北西クリニック／森田療法研究所  
新村 秀人 大正大学臨床心理学部

SY38-1

**認知症高齢者の不安に対する支持的精神療法**

○繁田 雅弘  
栄樹庵診療所

SY38-2

**高齢期の抑うつ・不安に対する認知行動療法**

○色本 涼  
東京農工大学健康・相談総合支援機構

SY38-3

**ユング心理学の立場からみた高齢者の不安—不安とともに生きる—**

○北山 純  
学習院大学

SY38-4

**高齢者の不安と森田療法的アプローチによる支援**

○新村 秀人  
大正大学臨床心理学部

**〔指定発言者〕**

北西 憲二  
北西クリニック／森田療法研究所

〈メインコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学臨床心理学部

## 6月18日(木) R会場(パシフィコ横浜ノース 4F G420)

8:30~10:30

### シンポジウム 39

「不器用さ」と生きづらさをめぐって—発達性協調運動症(DCD)の理解と支援

司会：今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学  
齊藤 まなぶ 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域

SY39-1

#### DCD概念の歴史の変遷と他の神経発達症との併存

○岩永 竜一郎<sup>1,2</sup>、今村 明<sup>1,2</sup>、徳永 瑛子<sup>1,2</sup>、梅村 亜衣<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>長崎大学生命医科学域、<sup>2</sup>長崎大学子どもの心の医療・教育センター

SY39-2

#### 小児期のDCDの理解と支援 —就学後を見据えた早期診断と早期介入—

○齊藤 まなぶ<sup>1</sup>、小枝 周平<sup>2</sup>、三上 美咲<sup>2</sup>、大里 絢子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域、<sup>2</sup>弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域

SY39-3

#### 成人期における発達性協調運動症(DCD) —併存症と二次障害形成の臨床的理解—

○今村 明<sup>1,2</sup>、山田 隆一<sup>1</sup>、徳永 瑛子<sup>1,2</sup>、梅村 亜衣<sup>2</sup>、岩永 竜一郎<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学、<sup>2</sup>長崎大学子どもの心の医療・教育センター

SY39-4

#### 教育・福祉における発達性協調運動症(DCD)がある子への支援

○東恩納 拓也

東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科

SY39-5

#### DCD児に対する医療と教育・福祉との連携

○黒川 駿哉<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター、<sup>2</sup>子どもと親こころの百年灯クリニック

#### 【指定発言者】

辻井 正次

中京大学現代社会学部発達臨床心理学

〈メインコーディネーター〉 今村 明

長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学

〈サブコーディネーター〉 黒川 駿哉

慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

10:40~12:40

### シンポジウム 40

国際移住時代の文化変容を生きる移民・難民の精神保健医療福祉

司会：阿部 裕 四谷ゆいクリニック

根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

SY40-1

#### 日本に暮らすアフガニスタン難民のメンタルヘルス支援の現状と課題

○鷗川 晃

大正大学地域創生学部公共政策学科

SY40-2

#### 在留ラテンアメリカ人のメンタルヘルスの変遷と課題

○大塚 公一郎

自治医科大学看護学部



SY40-3

南米日系人の文化的適応とこころの支援

○福井 英理子<sup>1</sup>、小野坂 益成<sup>2</sup>、川下 貴士<sup>2</sup>、丸山 昭子<sup>2</sup>、三浦 左千夫<sup>3</sup>、根本 隆洋<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>松蔭大学看護学部、<sup>3</sup>NPO法人MAIKEN、

<sup>4</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座

SY40-4

Innovative Approaches to Emotional Wellness: Supporting Asian Immigrants in the U.S. and Beyond

○Janice Y. Tsoh<sup>1,8</sup>、Jiwon Choi<sup>1,8</sup>、Joyce Cheng<sup>2,8</sup>、Feng Ming Li<sup>1,8</sup>、Sonia Picht<sup>1</sup>、Ching Wong<sup>1</sup>、Kamhung Lam<sup>3</sup>、Weeko Vang<sup>1</sup>、Dao Lor<sup>7</sup>、Mai Pham<sup>5,6</sup>、Chia Thao<sup>5</sup>、Phillip Yang<sup>1,8</sup>、Stephanie Yu<sup>1,8</sup>、Minji Kim<sup>8,9</sup>、Susan L. Stewart<sup>3</sup>、Nancy J. Burke<sup>4</sup>、Andreea Seritan<sup>1</sup>、Tung T. Nguyen<sup>1,8</sup>

<sup>1</sup>University of California, San Francisco, USA、<sup>2</sup>Chinese Community Health Resource Center, USA、

<sup>3</sup>University of California, Davis, USA、<sup>4</sup>University of California, Merced, USA、

<sup>5</sup>California State University, Bakersfield, USA、<sup>6</sup>Immigrant Resettlement & Cultural Center, USA、

<sup>7</sup>The Fresno Center, USA、<sup>8</sup>Asian American Research Center on Health, USA、

<sup>9</sup>University of South Carolina, USA

〈メインコーディネーター〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 福井 英理子 東邦大学医学部精神神経医学講座

14:15～16:15

シンポジウム 41 (自殺予防に関する委員会)

自殺総合対策大綱見直しに向けて精神科医ができること

司会：太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター  
河西 千秋 札幌医科大学精神医学講座

SY41-1

自殺対策基本法の令和7年の改正について

○田中 増郎、堀井 茂男

慈圭病院

SY41-2

学校における自殺の現状と自殺予防

○山田 敦朗

名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座

SY41-3

精神科医療従事者に対する研修

○大塚 耕太郎<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座、<sup>2</sup>岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、<sup>3</sup>岩手県こころのケアセンター

SY41-4

自殺対策における「連携」について考察する ～浜松市の学校・周産期自殺対策の実践から～

○二宮 貴至

浜松市精神保健福祉センター

〔指定発言者〕

張 賢徳

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈メインコーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター

〈サブコーディネーター〉 張 賢徳 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

16:30~18:30 シンポジウム 42

精神科でよく遭遇する頭頸部身体症候に対する漢方治療のアプローチ～頭痛・のぼせ・めまい・耳鳴の攻略法～

司会：神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院  
堀口 淳 島根大学医学部精神医学講座

SY42-1 のぼせに対する漢方治療

○小野 真吾  
研究学園ななほクリニック

SY42-2 精神科におけるめまいへの漢方治療

○高橋 晶<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、<sup>2</sup>茨城県立こころの医療センター

SY42-3 精神科における耳鳴に対する漢方治療

○久永 明人<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人清風会ホスピタル坂東精神科、<sup>2</sup>医療法人社団ひのき会証クリニック併設和漢診療研究所

SY42-4 頭痛と精神疾患との間の深い関係と、治療における漢方薬の位置づけ

○山田 和男  
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

〈メインコーディネーター〉 山田 和男 東北医科薬科大学医学部精神科学教室  
〈サブコーディネーター〉 久永 明人 医療法人清風会ホスピタル坂東精神科

## 6月18日(木) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1~G4)

10:40~11:30 一般演題 1

児童・思春期精神障害1

司会：野村 健介 島田療育センター児童精神科

1-FP1-1 神経発達症児地域支援者ネットワーク構築を目的とした教育プログラムの開発とその有効性

大西 雄一<sup>1</sup>、○西村 肇<sup>1</sup>、猪股 誠司<sup>2</sup>、中島 由宇<sup>3</sup>、池内 真弓<sup>4</sup>、菅野 和恵<sup>4</sup>、三上 克央<sup>1</sup>、山本 賢司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東海大学医学部総合診療学系精神科学、<sup>2</sup>湘南福祉センター診療所、<sup>3</sup>東海大学文化社会学部心理・社会学科、<sup>4</sup>東海大学健康学部健康マネジメント学科

1-FP1-2 When Words Wont Come Case of Pediatric Patients Presenting with Stuttering in a Tertiary Hospital

○Ziara Carmelli G. Tan, Irene Carmelle S. Tan, Jolly Michelle S. Bustamante  
University of the Philippines Philippine General Hospital Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, Philippines

1-FP1-3 児童虐待通告後の医療従事者へのデジタルハラスメント：一症例報告

○大谷 恭平<sup>1,4</sup>、山元 一樹<sup>2,4</sup>、豊嶋 大作<sup>3,4</sup>、森沢 猛<sup>3,4</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科、  
<sup>2</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院脳神経外科、  
<sup>3</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院小児科、  
<sup>4</sup>地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院養育支援チーム

1-FP1-4 感覚異常の遺伝的構造と性差：思春期の一般集団を対象としたゲノムワイド関連解析 (GWAS)

○児島 正樹<sup>1</sup>、山末 英典<sup>2</sup>、土屋 賢治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、<sup>2</sup>浜松医科大学医学部精神医学講座



1-FP1-5

### Adolescent Psychopathology: A Case of PTSD, Bipolar II Disorder, and Borderline Personality Disorder

○Johanna Lindsay P. Capili, Irene Carmelle S. Tan

Psychiatry and Public Mental Health Residency Training Program, Advanced Comprehensive Center for Mental Health, Mariveles Mental Wellness and General Hospital, Philippines

10:40~11:40

### 一般演題 2 気分障害1

司会：松下 満彦 医療法人社団新光会不知火病院

1-FP2-1

#### 当病院外来でのうつ病・うつ状態治療におけるボルチオキセチン(VOR)の使用経験

○岩崎 真三、赤松 裕子

医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院精神科

1-FP2-2

#### 抗うつ剤を中止後離脱症候群により中止できない患者に対し、ボルチオキセチンに置換後に中止を試みた10症例

○広田 進

広田クリニック

1-FP2-3

#### 焦燥を伴う重症再発性うつ病で抗うつ薬や気分安定薬の効果が不十分で漢方処方が著効した1例

○濱川 浩、浅田 朋彦

滋賀県立精神医療センター診療局

1-FP2-4

#### ストレスケア病棟へ入院した患者75,606人の自殺既遂調査

○松下 満彦<sup>1,2</sup>、徳永 雄一郎<sup>1</sup>、後藤 玲央<sup>1,2</sup>、杉本 浩利<sup>1</sup>、堀 輝<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団新光会不知火病院精神科、<sup>2</sup>福岡大学医学部精神医学教室

1-FP2-5

#### 地域在住高齢者における血清オキシトシン濃度と将来の抑うつ症状との関連：9年間の追跡研究

○折橋 隆三<sup>1</sup>、藤野 成美<sup>1</sup>、古賀 明美<sup>2</sup>、國武 裕<sup>3</sup>、溝口 義人<sup>3</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学医学部統合基礎看護学講座、<sup>2</sup>佐賀大学医学部生涯発達看護学講座、<sup>3</sup>佐賀大学医学部精神医学講座

1-FP2-6

#### 大うつ病性障害のサブタイプに関連するゲノムワイド有意遺伝子座の組織特異的遺伝子発現

○藤兼 大輔<sup>1</sup>、鳥居 叶愛<sup>2</sup>、大井 一高<sup>1,3</sup>、高井 健太郎<sup>1</sup>、蔵満 彩結実<sup>1</sup>、武藤 恭昌<sup>1</sup>、杉山 俊介<sup>1</sup>、塩入 俊樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野、<sup>2</sup>岐阜大学医学部、<sup>3</sup>金沢医科大学総合内科

10:40~11:40

### 一般演題 3 社会精神医学(地域精神医療)

司会：高橋 秀俊 高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学

1-FP3-1

#### 川崎市における措置通報の分析－高齢者に着目して－

○袖長 光知穂<sup>1</sup>、河野 稔明<sup>3</sup>、石井 美緒<sup>2</sup>、柴崎 聡子<sup>2</sup>、竹島 正<sup>4</sup>

<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、<sup>2</sup>川崎市総合リハビリテーション推進センター、

<sup>3</sup>国立精神神経医療研究センター、<sup>4</sup>大正大学地域構想研究所

1-FP3-2

#### 旧森田家住宅保存活用に向けた準備状況と今後の計画：森田正馬生家における森田療法の活用に向けて

○高橋 秀俊

高知大学医学部児童青年期精神医学(寄附講座)

- 1-FP3-3 **精神医療への関与意思が高いプライマリ・ケア医の診療実態の特徴についての検討**  
○福田 周一<sup>1</sup>、小谷 和彦<sup>2</sup>、小林 聡幸<sup>1</sup>、須田 史朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>自治医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門
- 1-FP3-4 **社会構造やうつ病の変化から、社会における高要求型の増加を考える**  
○徳永 雄一郎<sup>1</sup>、島松 まゆみ<sup>1</sup>、高田 和秀<sup>1</sup>、奥村 幸祐<sup>1</sup>、後藤 玲央<sup>1,2</sup>、松下 満彦<sup>2</sup>、堀 輝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>不知火病院、<sup>2</sup>福岡大学医学部精神医学教室
- 1-FP3-5 **重層的支援体制の一役を担う精神障害者アウトリーチ推進事業のこれまでとこれから**  
○本間（照井）稔宏<sup>1,2,3</sup>、佐藤 成美<sup>1</sup>、三井 郁映<sup>1</sup>、鈴木 清香<sup>1</sup>、佐々木 太士<sup>1,2,3</sup>、川崎 由希子<sup>1,3,4</sup>、  
後藤 大介<sup>3,5</sup>、前田 正治<sup>1,6</sup>  
<sup>1</sup>福島県精神保健福祉センター、<sup>2</sup>福島県立ふくしま医療センターこころの杜、  
<sup>3</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、<sup>4</sup>公益財団法人磐城済世会舞子浜病院、<sup>5</sup>会津こころと脳のクリニック、  
<sup>6</sup>一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター
- 1-FP3-6 **共同意思決定を活かした退院支援の再構築と地域移行後の継続支援**  
○枝國 典子<sup>1</sup>、田村 良次<sup>1</sup>、渡部 武志<sup>2</sup>、中田 信浩<sup>1</sup>、重本 拓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>医療法人光の会重本病院、<sup>2</sup>医療法人光の会ほっとホーム一歩社
- 
- 10:40~11:30 **精神科専門医研修中の医師 1**
- 司会：山口 大樹 GIVING TREE CLINIC / 東邦大学医学部精神神経医学講座
- 1-RP1-1 **接触欠損パラノイドを参考にした孤独に対する環境調整が有効であった統合失調症の一例**  
○西川 直輝<sup>1,2</sup>、高田 涼平<sup>1</sup>、藤本 侑花<sup>1,3</sup>、川西 悠加<sup>1</sup>、松岡 究<sup>1</sup>、岡田 俊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学附属病院精神科、<sup>2</sup>天理よろづ相談所病院白川分院、  
<sup>3</sup>東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学科学分野
- 1-RP1-2 **新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 罹患後に好中球減少症を呈したクロザピン服用患者の一例**  
○山下 侑希、上村 幸正、斉藤 善貴、稲田 健  
北里大学医学部精神科学教室
- 1-RP1-3 **クロザピン血中濃度測定が当院のクロザピン治療に与えた影響**  
○横田 将輝、佐藤 諒、清水 俊宏、黒木 規臣  
埼玉県立精神医療センター
- 1-RP1-4 **血中濃度 / 用量比に基づいたクロザピンの個別漸増方法により発熱は予防できるか？**  
○反田 伶、三澤 史斉  
山梨県立北病院精神科
- 1-RP1-5 **常習性の致死的な自傷行為のため長期の行動制限を要した統合失調症におけるパーソナルリカバリー支援の一例**  
○田鎖 遥、西村 康平、森脇 久視、岩井 一正  
神奈川県立精神医療センター精神科



11:40~13:00 一般演題 4  
統合失調症とその類縁1

司会：笠井 清登 東京大学

1-FP4-1 統合失調症における $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体および活性化グリア：デュアルトレーサーPET研究

○和久田 智靖<sup>1</sup>、横倉 正倫<sup>1</sup>、間賀田 泰寛<sup>2</sup>、鈴木 千恵<sup>3</sup>、村山 千尋<sup>1</sup>、後藤 孝文<sup>1</sup>、玉山 大志<sup>1</sup>、  
亀野 陽亮<sup>1</sup>、岩渕 俊樹<sup>4,5</sup>、磯部 卓志<sup>6</sup>、大西 佑弥<sup>6</sup>、寺田 達弘<sup>2</sup>、武井 教使<sup>4,5</sup>、尾内 康臣<sup>7,8</sup>、  
山末 英典<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学精神医学講座、

<sup>2</sup>浜松医科大学光医学総合研究所光子技術開発部門バイオフィotonicsイノベーション寄附講座、

<sup>3</sup>浜松医科大学先端生体イメージング研究部門分子病態イメージング分野、

<sup>4</sup>大阪大学大学院連小児発達学研究科(浜松校)、<sup>5</sup>浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、

<sup>6</sup>浜松ホトニクス中央研究所、<sup>7</sup>浜松医科大学先端生体イメージング研究部門生体機能イメージング分野、

<sup>8</sup>浜松光医学財団浜松PET診断センター

1-FP4-2 統合失調症スペクトラム障害を有する患者の肺がん治療の受療格差：多施設コホート研究

○山田 裕士<sup>1,2</sup>、藤原 雅樹<sup>2</sup>、石井 太祐<sup>3</sup>、渡邊 ともね<sup>3</sup>、藤森 麻衣子<sup>3</sup>、中谷 直樹<sup>4</sup>、河村 敏彦<sup>5</sup>、  
大肚 孝治<sup>6</sup>、市原 英基<sup>7</sup>、島津 太一<sup>3</sup>、樋之津 史郎<sup>8</sup>、内富 庸介<sup>9</sup>、稲垣 正俊<sup>6</sup>

<sup>1</sup>一般財団法人江原積善会積善病院、<sup>2</sup>岡山大学学術研究院医療開発領域精神科神経科、

<sup>3</sup>国立がん研究センターがん対策研究所、<sup>4</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構、

<sup>5</sup>鳥根大学医学部附属病院医療情報部、<sup>6</sup>鳥根大学医学部精神医学講座、<sup>7</sup>岡山大学病院腫瘍センター、

<sup>8</sup>札幌医科大学医学部医療統計・データ管理学講座、<sup>9</sup>東京慈恵医科大学がんサイバーシップ・デジタル医療学講座

1-FP4-3 統合失調症患者に対するガイドライン一致率を含めたMeasurement-based careの実践

○森 啓輔<sup>1,2</sup>、松本 純弥<sup>1</sup>、伊藤 颯姫<sup>1</sup>、福本 健太郎<sup>3</sup>、稲田 健<sup>4</sup>、小高 文聰<sup>1,2</sup>、高野 晴成<sup>5</sup>、  
鬼頭 伸輔<sup>2</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、

<sup>3</sup>岩手医科大学医学部神経精神科学講座、<sup>4</sup>北里大学医学部精神科学教室、

<sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター臨床脳画像研究部

1-FP4-4 遅発性ジスキネジア患者におけるバルベナジン導入前後の抗精神病薬の処方状況：RWDを用いた検討

○合田 真貴<sup>1</sup>、柿木 文平<sup>1</sup>、浅井 秀敏<sup>1</sup>、竹内 啓善<sup>2</sup>

<sup>1</sup>田辺ファーマ株式会社(旧田辺三菱製薬)、<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院精神医学

1-FP4-5 産婦人科と精神科の協働で対応した統合失調症合併ハイリスク妊婦の一例

○石井 宏明<sup>1</sup>、山田 浩樹<sup>1,3</sup>、富岡 大<sup>1,2</sup>、市塚 清健<sup>4</sup>、真田 建史<sup>2</sup>、稲本 淳子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、<sup>2</sup>昭和医科大学医学部精神医学講座、

<sup>3</sup>小石川メンタルクリニック、<sup>4</sup>昭和医科大学横浜市北部病院産婦人科

1-FP4-6 クロザピン導入後に妊娠が判明し、総合病院と連携することで無事に出産し得た治療抵抗性統合失調症の一例

○木田 直也、齊藤 隆太、福森 崇之、大坪 駿介

国立病院機構琉球病院精神科

1-FP4-7 Closing the Gap: Advancing Early Mental Health Intervention for Youth in Ohio and the United States

○Shivnaveen Bains

North East Ohio Medical University, USA

1-FP4-8 **Brain Responses during Executive Function in Affective and Non-Affective First-Episode Psychosis**

○Jaume Clemente-calvo<sup>1,2</sup>、Paola Fuentes-claramonte<sup>1,3</sup>、Isabel Valli-mellado<sup>1</sup>、  
Beatriz García-ruiz<sup>1,3</sup>、Elena Rodríguez-cano<sup>1</sup>、Pilar Salgado-pineda<sup>1,3</sup>、Ana Aquino-servín<sup>1</sup>、  
Lucila Barbosa<sup>1</sup>、Isabel Carriín-martínez<sup>1,4</sup>、Emili Inarejos-clemente<sup>5</sup>、  
Salvador Sarrí-maluquer<sup>1,3</sup>、Peter J. Mckenna<sup>1,3</sup>、Edith Pomarol-clotet<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>Fundación para la Investigación y Docencia Maria Angustias Giménez FIDMAG, Neuroimaging, Sant Boi de Llobregat, Spain, <sup>2</sup>Fundación Hospitalarias Martorell, Psychiatry, Martorell, Spain,

<sup>3</sup>CIBERSAM Networked Biomedical Research Centre in Mental Health, Carlos III Health Institute, Madrid, Spain, <sup>4</sup>Fundación Hospitalarias Barcelona, Psychiatry, Barcelona, Spain,

<sup>5</sup>Sant Joan de Déu Hospital, Diagnostic Radiology, Esplugues de Llobregat, Spain

11:40~13:00 **一般演題 5**  
**コンサルテーション・リエゾン**

司会：西村 勝治 浜野ホスピタル

1-FP5-1 **精神疾患を持つ患者が身体疾患の治療を行うことに対する医療者側の理解 一症例を通じた問題提起**

○齋藤 淳一<sup>1,2</sup>、増田 陽夏<sup>1,3</sup>、後藤 麻佑<sup>2,4</sup>、黒澤 亮子<sup>2,5</sup>、下条 奈己<sup>2,5</sup>、前田 久美子<sup>2,5</sup>、宮田 祥一<sup>2,6</sup>、  
中村 陽一<sup>2,7</sup>、根本 隆洋<sup>1,8</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>東邦大学医療センター大森病院緩和ケアセンター、

<sup>3</sup>東邦大学大学院医学研究科精神神経医学講座、<sup>4</sup>東邦大学医療センター大森病院消化器外科、

<sup>5</sup>東邦大学医療センター大森病院看護部、<sup>6</sup>東邦大学医療センター大森病院薬剤部、

<sup>7</sup>東邦大学医学部臨床腫瘍学講座緩和医療学分野、<sup>8</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座

1-FP5-2 **精神科医不在の総合病院向けに開発したリエゾンコンサルテーションロボットを用いた診療の優位性**

○岩永 健<sup>1,2</sup>、住岡 英信<sup>3</sup>、茂山 美由紀<sup>4</sup>、熊崎 博一<sup>1,2,5</sup>

<sup>1</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座精神神経科学、<sup>2</sup>長崎大学病院精神科神経科、

<sup>3</sup>株式会社国際電気通信基礎技術研究所、<sup>4</sup>北松中央病院、<sup>5</sup>金沢大学

1-FP5-3 **鉄補充療法で改善を認めたがん患者のレストレスレッグス症候群の1例**

○武藤 仁志

武蔵野赤十字病院精神科

1-FP5-4 **せん妄リスクを考慮した入院患者における睡眠薬投与状況**

○和田 健<sup>1</sup>、皆尾 望<sup>1</sup>、大賀 健市<sup>2</sup>、杉田 隆裕<sup>2</sup>、由田 実沙<sup>2</sup>、栗山 裕<sup>3</sup>

<sup>1</sup>広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科、<sup>2</sup>広島大学大学院医歯薬保健学研究所医学講座精神神経医科学、

<sup>3</sup>公益財団法人慈主会慈主病院

1-FP5-5 **ICUせん妄後の認知機能低下に関連するDNAメチル化プロファイルによる新規バイオマーカー探索**

○西澤 由貴<sup>1</sup>、金沢 徹文<sup>1</sup>、篠崎 元<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学神経精神医学講座、<sup>2</sup>スタンフォード大学

1-FP5-6 **ラメルテオンを使用した身体疾患患者におけるせん妄発生病因子の後方視研究**

○逸見 竜次、中村 倫之、小曾根 基裕

久留米大学病院神経精神医学講座

1-FP5-7 **Becker Muscular Dystrophy presented with Catatonic Schizophrenia - A Case Report**

○Nileswar Das、Aditya Somani、Lokesh Kumar. Singh、Jiten Kumar. Mishra、  
Amit Kumar. Chowhan、Saravana Sukriya、Laksh Bajaj、Sanjana Agrawal

All India Institute of Medical Sciences, Raipur, India



1-FP5-8

## Psychodynamic and Interdisciplinary Care for Depression in Patients with HIV and Comorbid Illnesses

○Ziara Carmelli G. Tan、Irene Carmelle S. Tan

University of the Philippines Philippine General Hospital Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, Philippines

11:40~13:00

### 一般演題 6

#### 社会精神医学(司法精神医学、産業精神医学)

司会：木下 裕久 長崎大学保健センター

1-FP6-1

#### 医師の働き方改革に関連する大学病院勤務医師のストレス状況調査②

○木下 裕久、福原 視美、松本 五輪美、中田 奈々、古林 正和、中道 聖子

長崎大学保健センター

1-FP6-2

#### POU3F4遺伝子重複の表現型に関する考察：医療観察法病棟で経験したパーソナリティ症の一例

○石塚 晶啓<sup>1,2</sup>、竹下 絵里<sup>3</sup>、井上 健<sup>3</sup>、佐藤 典子<sup>3</sup>、大木 絵美梨<sup>2</sup>、陶山 満雄<sup>2</sup>、須田 史朗<sup>1</sup>、竹田 康二<sup>3</sup>、黒田 治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学附属病院精神科、<sup>2</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、

<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

1-FP6-3

#### 触法精神障害者に対する一般市民の社会受容度と要因分析

○杉本 裕子<sup>1</sup>、安藤 久美子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>岡崎医療刑務所医療部、<sup>2</sup>東京科学大学保健管理センター

1-FP6-4

#### 当院のストーカー加害者診療における事例検討と加害者支援の課題

○樋口 早子<sup>1,2</sup>、竹田 康二<sup>2</sup>、鈴木 敬生<sup>3</sup>、柏木 宏子<sup>2</sup>、大町 佳永<sup>2</sup>、大森 まゆ<sup>2</sup>、近藤 忠之<sup>2</sup>、久保田 涼太郎<sup>2</sup>、前田 佑樹<sup>2</sup>、新田 齊久<sup>2</sup>、新井 里沙<sup>2</sup>、平林 直次<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター病院臨床心理部

1-FP6-5

#### 産業保健領域における孤立・孤独へのオープンダイアログ対話的介入の実践報告

○近藤 智

目白大学保健医療学部

1-FP6-6

#### Self-care: Building Bridges and Helping Healthcare Professionals Promote Mental Well-being

○Narihiro(Sungho) Cho(Chang)

Department of Child Psychiatry, Inagidai Hospital, Japan

1-FP6-7

#### Evaluating Consultee Satisfaction with the IM Wellness Liaison Program: A Mixed-Methods Study

○Annemarie Pamela V. Torga、Josefina T. Ly - Uson

Philippine General Hospital, Department of Psychiatry & Behavioral Medicine, Philippines

1-FP6-8

#### Effects of a Resilience Program on Mental Health and Coping among Nurses in a Philippine Hospital

○Johanna Lindsay P. Capili、Irene Carmelle S. Tan

Psychiatry and Public Mental Health Residency Training Program, Advanced Comprehensive Center for Mental Health, Mariveles Mental Wellness and General Hospital, Philippines

11:40~12:30 **精神科専門医研修中の医師 2**

司会：大橋 愛子 長崎大学医学部精神神経科学教室

- 1-RP2-1 **前駆期および慢性期統合失調症患者に併存した神経性やせ症の2症例**  
○加藤 庸介<sup>1</sup>、中村 玉美<sup>2</sup>、市原 早紀<sup>2</sup>、水本 智大<sup>2</sup>、野田 稔子<sup>2</sup>、樋口 文宏<sup>2</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口県立こころの医療センター、<sup>2</sup>山口大学医学部附属病院
- 1-RP2-2 **放射線治療のためクロザピンからパリペリドンへの切り替えを要した治療抵抗性統合失調症の1例**  
○小幡 尚輝<sup>1</sup>、藤森 翔也<sup>2</sup>、川口 弦<sup>3</sup>、村竹 佑太<sup>1</sup>、入江 舜<sup>1</sup>、西山 勉<sup>4</sup>、渡部 雄一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>魚沼基幹病院精神科、<sup>2</sup>田宮病院精神科、<sup>3</sup>魚沼基幹病院放射線治療科、<sup>4</sup>魚沼基幹病院泌尿器科
- 1-RP2-3 **精神障害の受容と自立：統合失調症の一例からの考察**  
○成田 智彦、白石 直、明智 龍男  
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野
- 1-RP2-4 **アセナピン内服によりSIADHをきたした統合失調症の1例**  
○安孫子 茜、齊藤 善貴、清水 雄一郎、内田 大貴、稲田 健  
北里大学病院精神神経科
- 1-RP2-5 **初発および再発にインフルエンザA型感染が先行し、その後誘引なく再発を繰り返した統合失調症の1例**  
○小田切 誠也、小川 泰示、赤野間 貴之、福田 周一、岡田 剛史、須田 史朗  
自治医科大学精神医学講座

14:15~15:15 **一般演題 7**  
**統合失調症とその類縁2**

司会：宮野 康寛 薫風会山田病院精神科

- 1-FP7-1 **統合失調症患者における夜間光曝露と肥満との関連についての横断研究**  
○谷口 莉菜<sup>1</sup>、江崎 悠一<sup>1,2</sup>、大林 賢史<sup>3</sup>、佐伯 圭吾<sup>3</sup>、坪井 宗二<sup>1</sup>、藤田 潔<sup>1</sup>、岩田 仲生<sup>2</sup>、北島 剛司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>桶狭間病院精神科、<sup>2</sup>藤田医科大学医学部精神医学教室、<sup>3</sup>奈良県立医科大学疫学・予防医学講座
- 1-FP7-2 **アリピプラゾールLAI無効例の病態と背景因子の分析**  
○宮野 康寛  
薫風会山田病院
- 1-FP7-3 **統合失調症に関するガイドライン教育が精神科医の治療行動に及ぼす波及効果：多施設共同研究**  
○堀之内 徹<sup>1</sup>、荒井 勇輔<sup>2</sup>、村岡 寛之<sup>4</sup>、山室 和彦<sup>5</sup>、橋本 直樹<sup>1</sup>、大井 一高<sup>6</sup>、堀 輝<sup>7</sup>、古郡 規雄<sup>8</sup>、松本 純弥<sup>3</sup>、稲田 健<sup>4</sup>、渡邊 衡一郎<sup>9</sup>、越智 紳一郎<sup>10</sup>、坪井 貴嗣<sup>9</sup>、川俣 安史<sup>8</sup>、橋本 亮太<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>2</sup>信州大学医学部精神医学教室、<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>4</sup>北里大学医学部精神科学、<sup>5</sup>奈良県立医科大学健康管理センター、<sup>6</sup>岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野、<sup>7</sup>福岡大学医学部精神医学教室、<sup>8</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>9</sup>杏林大学医学部精神神経科学教室、<sup>10</sup>愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
- 1-FP7-4 **クロザピンを新規導入した18例における著効例、脱落例の経過について**  
○松本 仁  
みどりの風南知多病院



1-FP7-5

**日本のEGUIDE 参加施設における治療抵抗性統合失調症の有病率とクロザピン治療率：全国多施設共同研究**

○荒井 勇輔<sup>1</sup>、村岡 寛之<sup>2</sup>、山室 和彦<sup>4</sup>、安田 由華<sup>3,5</sup>、中村 敏範<sup>1</sup>、越智 紳一郎<sup>6</sup>、山形 弘隆<sup>3</sup>、堀之内 徹<sup>7</sup>、川俣 安史<sup>8</sup>、森 啓輔<sup>3</sup>、大井 一高<sup>9</sup>、橋本 直樹<sup>7</sup>、伊賀 淳一<sup>6</sup>、松本 純弥<sup>3</sup>、稲田 健<sup>2</sup>、堀 輝<sup>10</sup>、古郡 規雄<sup>8</sup>、橋本 亮太<sup>3</sup>

<sup>1</sup>信州大学医学部附属病院精神科、<sup>2</sup>北里大学医学部精神科学、  
<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>4</sup>奈良県立医科大学健康管理センター、  
<sup>5</sup>医療法人フォスター生きている育む輝くメンタルクリニック、<sup>6</sup>愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、  
<sup>7</sup>北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、<sup>8</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、  
<sup>9</sup>岐阜大学大学院医学系研究科精神医学、<sup>10</sup>福岡大学医学部精神医学教室

1-FP7-6

**統合失調症患者において興奮・躁症状と陰性症状がHbA1cと関連する**

○小山 玄紀<sup>1,2</sup>、米澤 陸<sup>1</sup>、牧野 治樹<sup>1</sup>、半井 龍<sup>1</sup>、中野 雅規<sup>1</sup>、脇坂 璃子<sup>1,3</sup>、高田 武人<sup>2</sup>、内田 裕之<sup>1</sup>、船山 道隆<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>2</sup>足利赤十字病院神経精神科、<sup>3</sup>日本医科大学救急医学教室

14:15~15:15 **一般演題 8**

**脳器質性・症状性精神障害、てんかん1**

司会：岩永 健 長崎大学病院精神科神経科

1-FP8-1

**激しい異常行動を伴う発作で長期入院していたが施設連携で手術に至り発作消失し退院できた焦点てんかんの一例**

○上田 裕一<sup>1,2</sup>、西田 拓司<sup>2</sup>、橋口 充<sup>2</sup>、丸山 泰<sup>2</sup>、中岡 健太郎<sup>3</sup>、白井 直敬<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人財団岩尾会東京海道病院、<sup>2</sup>静岡てんかん・神経医療センター、<sup>3</sup>愛知県精神医療センター

1-FP8-2

**うつと不安を伴う甲状腺機能正常の慢性甲状腺炎にチラージンが奏功した一例**

○藤井 さやか

こころとからだ相談クリニック精神科

1-FP8-3

**うつ病性の昏迷として入院となった抗Ma2抗体陽性脳炎**

○宮岸 良彰<sup>1</sup>、粟森 佳世子<sup>2</sup>、白藤 憲太郎<sup>3</sup>、吉村 敬介<sup>4</sup>、坂下 泰浩<sup>4</sup>、菊知 充<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学、<sup>2</sup>医療法人社団光風会結城病院、  
<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構金沢医療センター、<sup>4</sup>金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻脳神経内科学

1-FP8-4

**PNESと鑑別を要した癌性髄膜炎の一例**

○丸山 友佑、梅田 真洋、砂原 真理子、中田 千尋、倉持 泉、谷口 豪

国立精神神経医療研究センター病院てんかん診療部

1-FP8-5

**T2スター強調画像で診断し得た海綿状血管腫による認知症の1例**

○曾我 純也、吉野 祐太、越智 紳一郎、上野 修一

愛媛大学附属病院精神神経科

1-FP8-6

**再発を繰り返す子宮体癌を背景に抗 amphiphysin 抗体陽性の傍腫瘍性神経症候群を発症した1例**

○近藤 哲也<sup>1</sup>、竹之内 智<sup>1</sup>、穂満 玲美<sup>1</sup>、吉牟田 直和<sup>1</sup>、池田 良太<sup>1</sup>、島田 尚子<sup>1</sup>、浦田 結嘉<sup>1</sup>、武 義人<sup>2</sup>、穂原 貴裕<sup>2</sup>、中村 雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、  
<sup>2</sup>鹿児島大学医歯学総合研究科神経病学講座脳神経内科・老年病学

14:15~15:15 一般演題 9

神経症性障害とその類縁1

司会：浅見 剛 横浜市立大学大学院医学研究科精神医学

1-FP9-1 精神疾患治療における呼吸法の進化論的背景と神経科学的基盤

○端谷 毅  
はしたにクリニック

1-FP9-2 PTSDフラッシュバック治療薬の作用機序：生体電位と遺伝子発現からの新規解析

○宮川 晃一<sup>1</sup>、内海 潤<sup>2</sup>、辻 将央<sup>2</sup>、臼井 千恵<sup>3</sup>、鎌田 弥生<sup>2</sup>、富永 光俊<sup>2</sup>、高森 建二<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属浦安病院、<sup>2</sup>順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所、<sup>3</sup>順天堂大学医学部附属練馬病院

1-FP9-3 ト라우マに関連した精神症状に対するプラゾシンの効果についての検討

○西村 康平  
神奈川県立精神医療センター

1-FP9-4 Decoupled Recovery: Changing Roles of Personal Stressors on Mental Health across Social Contexts

○Yi Nam Suen, Yu Hay Candice Chan, Lai Ming Christy Hui, Kit Wa Sherry Chan, Ho Ming Edwin Lee, Yu Hai Eric Chen  
University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China

1-FP9-5 Targeting Emotion Regulation Deficits in OCD: A Framework for Next-Generation Therapies

○Pedro Morgado  
Life and Health Sciences Research Institute (ICVS), School of Medicine, University of Minho, Portugal

1-FP9-6 The Functional Connectome of Obsessive-compulsive Symptoms: A Resting-state fMRI Investigation

○Pedro Morgado, Pedro S. Moreira, Ricardo Magalhães, Nuno Sousa  
Life and Health Sciences Research Institute (ICVS), School of Medicine, University of Minho, Portugal

14:15~14:55 精神科専門医研修中の医師 3

司会：谷 英明 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

1-RP3-1 持効性注射剤と経口剤の併用による高用量 aripiprazole を必要とした統合失調症の一例

○三橋 弘明<sup>1</sup>、橋本 佐<sup>2</sup>、石毛 稔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院精神科、<sup>2</sup>国際医療福祉大学成田病院精神科

1-RP3-2 統合失調症患者における夜間の光曝露と睡眠の質：LENS 研究による横断的解析

○三宅 峻太<sup>1</sup>、江崎 悠一<sup>1,2</sup>、谷口 莉菜<sup>2</sup>、大林 賢史<sup>3</sup>、佐伯 圭吾<sup>3</sup>、坪井 宗二<sup>2</sup>、藤田 潔<sup>2</sup>、岩田 伸生<sup>1</sup>、北島 剛<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>藤田医科大学医学部精神神経科学講座、<sup>2</sup>桶狭間病院藤田こころケアセンター、<sup>3</sup>奈良県立医科大学疫学、予防医学講座

1-RP3-3 QT延長をはじめとした薬物有害事象のため薬剤選択に難渋した統合失調感情障害の1例

○荒田 昌彦、桑原 達郎、須田 哲史、天野 光一郎、村川 文彬、森武 太陽地  
国家公務員共済組合連合会立川病院



1-RP3-4

COVID-19罹患を契機に再発した統合失調感情症の一例

○武川 秀基、瀧口 一夫、熊代 新、増井 寛治、金森 良  
針生ヶ丘病院精神科

15:15~16:15

一般演題 10

神経症性障害とその類縁2

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

1-FP10-1

FND（機能性神経障害）患者の心理的特徴 - MMPIを用いた検討 -

○荒川 和歌子<sup>1</sup>、野呂 浩史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>南岸内科クリニック臨床心理部門、<sup>2</sup>南岸内科クリニック精神神経科

1-FP10-2

解離症治療のエキスパート・コンセンサスを日常臨床に活かす（第3報）

○新谷 宏伸  
明雄会本庄児玉病院

1-FP10-3

不安症におけるエピソードジェネティック加齢：診断サブタイプごとの特徴と社会機能との関連

○大井 一高<sup>1</sup>、藤兼 大輔<sup>1</sup>、種田 靖久<sup>2</sup>、高井 健太郎<sup>1</sup>、浮洲 龍英<sup>1</sup>、中原 茉保<sup>1</sup>、村上 拓紀<sup>1</sup>、  
藤田 浩司<sup>1</sup>、蔵満 彩結実<sup>1</sup>、武藤 恭昌<sup>1</sup>、杉山 俊介<sup>1</sup>、笠井 清登<sup>3</sup>、小池 進介<sup>3</sup>、北市 清幸<sup>2</sup>、  
塩入 俊樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岐阜大学大学院医学系研究科精神医学、<sup>2</sup>岐阜薬科大学薬物動態学研究室、  
<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室

1-FP10-4

A Large-Scale Education Initiative for Training Psychiatry Faculty in Unconscious Bias

○Fiona Rawle<sup>1</sup>、Maydianne Andrade<sup>2</sup>、Shaheen Darani<sup>3</sup>、Amy Gajaria<sup>3</sup>、Nikhita Singhal<sup>3</sup>、  
Certina Ho<sup>3</sup>、Shekina Plowman<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Biology, University of Toronto Mississauga, Canada,  
<sup>2</sup>Biological Sciences, University of Toronto Scarborough, Canada, <sup>3</sup>Psychiatry, University of Toronto, Canada

1-FP10-5

演題取り下げ

1-FP10-6

Sociodemographic and Clinical Factors Associated with Adjustment Disorder in CL Psychiatry Patients

○Ziara Carmelli G. Tan、Josefina T. Ly-uson  
University of the Philippines Philippine General Hospital Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, Philippines

15:15~16:15

一般演題 11

児童・思春期精神障害2

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

1-FP11-1

精神疾患を抱える親を介護するヤングケアラーの高リスク性

○小野 美樹<sup>1</sup>、松崎 裕香<sup>1</sup>、佐藤 みのり<sup>2</sup>、井上 猛<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学病院精神医学分野、<sup>2</sup>都留文科大学教養学部学校教育学科、<sup>3</sup>特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院

1-FP11-2

医療と児童相談所の連携における課題と展望—16歳以上の一時保護委託事例から—

○陶山 寧子  
横浜市中央児童相談所

- 1-FP11-3 **医師および教師によるリスデキサンフェタミンメシル酸塩の実臨床下での安全性および有効性の評価**  
○岡田 俊<sup>1</sup>、伊田 寛之<sup>2</sup>、山下 孝治<sup>2</sup>、齊藤 万比古<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、  
<sup>3</sup>恩賜財団母子愛育会愛育研究所
- 1-FP11-4 **障害福祉所得制限撤廃に向けて。障害要因とその対策の考察**  
○原 紘志  
林道倫精神科神経科病院精神科
- 1-FP11-5 **児童相談所の過剰運用と一時保護・親子分離の課題：子どもの権利尊重と福祉向上を目指した制度改革の必要性**  
○生月 弓子<sup>1,2,3</sup>、江越 正敏<sup>2</sup>、稲葉 元子<sup>3</sup>、山藤 晶子<sup>3</sup>、板岡 奈央<sup>3</sup>、清水 俊明<sup>3</sup>、合阪 幸三<sup>3</sup>、  
榎原 智子<sup>6</sup>、井村 昌義<sup>7</sup>、金田 万里子<sup>3</sup>、高本 やよい<sup>3</sup>、佐藤 智子<sup>5</sup>、谷川 佳世子<sup>3</sup>、高橋 しづこ<sup>9</sup>、  
渡辺 とよ子<sup>8</sup>、外ノ池 佳子<sup>4</sup>、岩波 初美<sup>10</sup>  
<sup>1</sup>医療法人燈明会心療内科、<sup>2</sup>医療法人ともしび会、<sup>3</sup>医療法人小畑会浜田病院、<sup>4</sup>南木北沢法律事務所、  
<sup>5</sup>医療法人石渡産婦人科病院、<sup>6</sup>子どもと家族のための緊急提言プロジェクト、<sup>7</sup>ウエルネストメンタルクリニック、  
<sup>8</sup>医療法人社団わたなべ医院東松戸、<sup>9</sup>シンガポール国立大学、<sup>10</sup>児相と親子の架け橋千葉の会
- 1-FP11-6 **児童精神科診療所における他機関との連携の現状～連携回数に影響を与える要因の検討**  
○牛島 洋景<sup>1</sup>、川添 万菜<sup>1</sup>、田岡 由紀子<sup>1,3</sup>、二宮 宗三<sup>1,2</sup>、忍足 美良乃<sup>1,2</sup>、渡邊 未来<sup>1,2</sup>、砂川 ひかる<sup>1,4</sup>、  
篠原 玲奈<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>うしじまこころの診療所、<sup>2</sup>いちかわこころの相談所むすび葉、<sup>3</sup>船橋市総合教育センター、  
<sup>4</sup>国立病院機構下志津病院

15:15～16:15 **一般演題 12**  
**社会精神医学(精神保健福祉・多文化精神医学1)**

司会：齊尾 武郎 フジ虎ノ門整形外科病院内科・精神科

- 1-FP12-1 **生きられた経験と精神疾患の思弁的実在：精神医学における実在論的転回**  
○齊尾 武郎  
フジ虎ノ門整形外科病院内科・精神科
- 1-FP12-2 **ひきこもりはなぜ日本だけますます増えているの？ 成人した子どもへの扶養義務という呪縛**  
○荒田 智史  
医療法人FLATSヒルサイドクリニック
- 1-FP12-3 **東北大学病院精神科と仙台市の協働による多職種アウトリーチ支援の体制構築と初期活動実績**  
○瀬戸 萌<sup>1</sup>、小野寺 由紀子<sup>1</sup>、岩渕 賢嗣<sup>2</sup>、尾之内 勇治<sup>2,3</sup>、佐々木 和人<sup>2</sup>、曾良 かおり<sup>2</sup>、町田 輝史<sup>2</sup>、  
富田 博秋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東北大学病院精神科、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、<sup>3</sup>木町通メンタルクリニック Olive
- 1-FP12-4 **当院を受診した外国人患者の受療動向と背景要因の変化**  
○阿南 伴美、橋本 和子  
社会医療法人芳和会菊陽病院
- 1-FP12-5 **マインドフルネスと認知行動療法に関する検索クエリの特徴：検索エンジンのビッグデータを用いた比較分析**  
○原口 正  
宇都宮大学保健管理センター
- 1-FP12-6 **演題取り下げ**



15:15~16:15 **精神科専門医研修中の医師 4**

司会：辻井 崇 社会医療法人あさかホスピタル

- 1-RP4-1**    **パーキンソン病に伴うアパシーに電気けいれん療法が奏効した一例**  
 ○山中 清里<sup>1</sup>、水井 亮<sup>1</sup>、法山 勇樹<sup>1</sup>、本多 祐也<sup>2</sup>、高田 涼平<sup>1</sup>、岡田 俊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学精神医学講座、<sup>2</sup>奈良県総合医療センター精神科
- 1-RP4-2**    **うつ病における症状変化の予測因子-自然観察的追跡研究より-**  
 ○稲野 瑠衣、菅原 典夫、川俣 安史、古郡 規雄  
 獨協医科大学精神神経医学講座
- 1-RP4-3**    **重症うつ病エピソードのため、妊娠後期に修正型電気けいれん療法を施行した一例**  
 ○眞部 悟一、高崎 創太、山内 春佳、深谷 壮輝、須田 史郎  
 自治医科大学附属病院
- 1-RP4-4**    **修正型電気けいれん療法で口腔の異常運動が改善したうつ病の一例**  
 ○桃原 俊、齊藤 善貴、劔持 幸男、村岡 寛之、稲田 健  
 北里大学病院精神神経科
- 1-RP4-5**    **幻視を伴う治療抵抗性躁状態に対してミアンセリンが奏功した一例**  
 ○赤松 俊信<sup>1</sup>、新津 富央<sup>2</sup>、木村 望<sup>1</sup>、星 極<sup>1</sup>、赤沼 暁彦<sup>1</sup>、小石川 比良来<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>亀田総合病院心療内科・精神科、<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院精神医学教室
- 1-RP4-6**    **修正型電気けいれん療法導入後に不思議の国のアリス症候群を呈した精神病性うつ病の一例**  
 ○井上 和之<sup>1</sup>、翠川 晴彦<sup>1</sup>、中村 翼<sup>1</sup>、新井 哲明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学附属病院精神神経科、<sup>2</sup>筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

16:30~17:30 **一般演題 13**  
**統合失調症とその類縁3**

司会：荒井 悠 東邦大学医学部精神神経医学講座

- 1-FP13-1**    **注意欠如・多動症を併存しグアンファシンが有効であった早期再分極所見を有する慢性期統合失調症の5例**  
 ○亀山 洋<sup>1,2</sup>、杉本 健一<sup>3</sup>、鈴木 みね子<sup>4</sup>、中山 貴至<sup>5</sup>、忽滑谷 和孝<sup>1,2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科精神神経科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、  
<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学臨床検査講座、<sup>4</sup>医療法人鳳生会成田病院、  
<sup>5</sup>医療法人社団貴山会柏駅前なかやまメンタルクリニック
- 1-FP13-2**    **高齢統合失調症における海馬および海馬傍回容積と認知機能の相関**  
 ○坂西 信彦<sup>1,2</sup>、米良 健輔<sup>3</sup>、大野 泰裕<sup>3</sup>、山下 建昭<sup>2</sup>、渡邊 健次郎<sup>2</sup>、真田 建史<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人尚和会龍田病院、<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構菊池病院、<sup>3</sup>昭和医科大学医学部精神医学教室
- 1-FP13-3**    **減弱精神病症候群における脳白質と眼球運動の変化とその影響**  
 ○荒井 悠<sup>1</sup>、片桐 直之<sup>1</sup>、田形 弘実<sup>1</sup>、齋藤 淳一<sup>1</sup>、内野 敬<sup>1,2</sup>、神谷 昂平<sup>3</sup>、堀 正明<sup>3</sup>、水野 雅文<sup>1,4</sup>、  
 根本 隆洋<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会実装精神医学講座、<sup>3</sup>東邦大学医学部放射線医学講座、  
<sup>4</sup>社会医療法人あさかホスピタル

1-FP13-4

**レセプトデータを用いた初回エピソード統合失調症患者を対象としたルラシドンの有用性**

○嶽北 佳輝<sup>1</sup>、阿瀬川 孝治<sup>2</sup>、馬場 健次<sup>3</sup>、野坂 忠史<sup>3</sup>、但馬 匠<sup>4</sup>、船越 雄二郎<sup>4</sup>、高松 良光<sup>4</sup>、加藤 正樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学医学部精神神経科学講座、<sup>2</sup>医療法人三精会汐入メンタルクリニック、  
<sup>3</sup>住友ファーマ株式会社R&D本部メディカルアフェアーズ部、  
<sup>4</sup>株式会社JMDC製薬本部リアルワールドエビデンス事業部

1-FP13-5

**人間の精神世界における新たな進化論の可能性**

○伊集院 由佳<sup>1,2</sup>、伊集院 清一<sup>1,3,4</sup>

<sup>1</sup>東京アートセラピー研究所、<sup>2</sup>一般社団法人日本美術家連盟、<sup>3</sup>多摩美術大学、<sup>4</sup>虎の門病院

1-FP13-6

**レセプトデータを用いた初回エピソード統合失調症患者を対象とした最古の受診診療科別のアウトカムの評価**

○阿瀬川 孝治<sup>1</sup>、嶽北 佳輝<sup>2</sup>、馬場 健次<sup>3</sup>、野坂 忠史<sup>3</sup>、但馬 匠<sup>4</sup>、船越 雄二郎<sup>4</sup>、高松 良光<sup>4</sup>、加藤 正樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>汐入メンタルクリニック、<sup>2</sup>関西医科大学精神神経科学教室、  
<sup>3</sup>住友ファーマ株式会社R&D本部メディカルアフェアーズ部、  
<sup>4</sup>株式会社JMDC製薬本部リアルワールドエビデンス事業部

16:30~17:20

**一般演題 14**

**児童・思春期精神障害3**

司会：菊知 充

金沢大学医学系精神行動科学

1-FP14-1

**演題取り下げ**

1-FP14-2

**A Focus Group Study about Japanese Clinicians Views on Fictional Child Maltreatment Scenarios**

○Emelie Miller, Misari Oe, Motohiro Ozone

Department of Neuropsychiatry, Kurume University School of Medicine, Japan

1-FP14-3

**精神疾患の既往のある母親から出生した子どもの3歳までの精神神経発達について**

○大原 伸騎<sup>1,2</sup>、満田 直美<sup>3</sup>、山崎 慶子<sup>4</sup>、栄徳 勝光<sup>4</sup>、菅沼 成文<sup>4</sup>、小松 静香<sup>2,5</sup>、数井 裕光<sup>2</sup>、高橋 秀俊<sup>2,5</sup>

<sup>1</sup>高知医療センター児童精神科、<sup>2</sup>高知大学医学部神経精神科学講座、<sup>3</sup>高知大学医学部小児思春期医学講座、  
<sup>4</sup>高知大学医学部環境医学教室、<sup>5</sup>高知大学医学部児童青年期精神医学講座

1-FP14-4

**神経発達症、複雑性PTSD、統合失調症の3疾患に該当する外国人にルーツを持つ思春期児童の1例**

○柳澤 尚実

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター児童精神科

1-FP14-5

**Parenting Style Mediates Links between Parental Anxiety and Preschool Anxiety in Children Aged 3-7**

○Jojo Yan Yan Kwok<sup>1,4</sup>、Yongshen Feng<sup>1</sup>、Dali Lu<sup>2,3</sup>、Junyan Li<sup>1</sup>、Yi-nam Suen<sup>1</sup>、Pui Hing Chau<sup>1</sup>

<sup>1</sup>School of Nursing, Li Ka Shing Faculty of Medicine, The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China、

<sup>2</sup>Longhua District Maternal & Child Health Hospital, China、

<sup>3</sup>Psychology Department, Xiamen Fifth Hospital, China、

<sup>4</sup>Centre on Behavioral Health, Faculty of Social Science, The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China



16:30~17:10 一般演題 15

認知症、老年期精神障害1

司会：新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

- 1-FP15-1 早期アルツハイマー病に対するドナネマブの有効性及び安全性 (TRAILBLAZER-ALZ 2長期継続投与期間)  
○片桐 秀晃<sup>1</sup>、佐藤 祥一郎<sup>1</sup>、植仲 和典<sup>1</sup>、Ivelina Gueorguieva<sup>2</sup>、Kay Chow<sup>2</sup>、Laiyi Chua<sup>2</sup>、  
Sergey Shcherbinin<sup>2</sup>、Jennifer A. Zimmer<sup>2</sup>、Cynthia D. Evans<sup>2</sup>、Hong Wang<sup>2</sup>、  
Emel Serap Monkul Nery<sup>2</sup>、Dawn A. Brooks<sup>2</sup>、John R. Sims<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本イーライリリー株式会社、<sup>2</sup>Eli Lilly and Company
- 1-FP15-2 軽度行動障害を伴う若年性アルツハイマー病に対する抗Aβ抗体薬による治療経過  
○蟬 奈央、平田 真之将、喜多 奈津子、朝井 裕美子、小林 杏輔、北野 陽大、奥平 和也、  
山田 信一、紀本 創兵  
和歌山県立医科大学神経精神医学教室
- 1-FP15-3 前頭側頭型認知症に筋萎縮性側索硬化症を合併した高齢女性の一例  
○薬師神 勇人、熊代 新、瀧口 一夫、木野田 昌彦、増井 寛治、金森 良  
針生ヶ丘病院
- 1-FP15-4 臨床情報を含む孤発性アルツハイマー病iPS細胞ライブラリーの構築と治療反応性に基づく病態解析  
○廣瀬 匠<sup>1,2</sup>、福永 高之<sup>2</sup>、高山 敏樹<sup>2</sup>、石川 景一<sup>1,3</sup>、柴田 展人<sup>2</sup>、加藤 忠史<sup>2</sup>、赤松 和土<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学大学院医学研究科ゲノム・再生医療センター、<sup>2</sup>順天堂大学医学部精神医学講座、  
<sup>3</sup>順天堂大学医学部脳神経内科

16:30~17:30 精神科専門医研修中の医師 5

司会：片桐 直之 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

- 1-RP5-1 てんかんの病勢と対応する精神症状を呈した両側扁桃腫大を伴う側頭葉てんかんの3例  
○丸山 泰<sup>1,2</sup>、西田 拓司<sup>1</sup>、川口 典彦<sup>1</sup>、松平 敬史<sup>1</sup>、三田 晃裕<sup>1</sup>、布施川 佑志郎<sup>1</sup>、朝山 健太郎<sup>2</sup>、  
今井 克美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターてんかん科、<sup>2</sup>医療法人社団種光会朝山病院
- 1-RP5-2 大麻使用後に躁状態を呈し発作後精神病と鑑別を要した一例  
○石黒 光里、櫻井 麻里、宮田 淳、河合 三穂子  
愛知医科大学病院
- 1-RP5-3 後部皮質萎縮症に大脳皮質基底核変性症候群が合併した一例  
○大久 仁美、高橋 誠人、松浦 広樹、岡崎 康輔、橋本 和典、徳山 明広  
一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん
- 1-RP5-4 長時間ビデオ脳波モニタリング中に症状の秘匿があり退院直後に顕在化した発作後精神病の一例  
○藤原 翔太郎<sup>1,2</sup>、樋口 遼太郎<sup>1</sup>、古茶 歩<sup>1</sup>、村岡 陽<sup>1</sup>、長島 侑生<sup>1</sup>、小口 芳世<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、<sup>2</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、  
<sup>3</sup>帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科
- 1-RP5-5 発作後精神病の後に疎通不良が遷延した常染色体顕性低Ca血症1型の一例  
○米津 詞音、清田 正紘、森田 進、藤川 慎也、笠井 清登  
東京大学医学部附属病院精神神経科
- 1-RP5-6 うつ病と診断、加療されていた若年性アルツハイマー型認知症の一例  
○比嘉 智子、河合 三穂子、宮田 淳  
愛知医科大学病院精神神経科

17:30~18:50 一般演題 16  
気分障害2

司会：中村 倫之 久留米大学医学部神経精神医学講座

- 1-FP16-1 中年男性の易怒性がテストステロン補充で改善した双極性障害が疑われる一例  
○鮫島 大輔<sup>1,2</sup>、亀山 洋<sup>1,2</sup>、忽滑谷 和孝<sup>1,2</sup>、鬼頭 伸輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座
- 1-FP16-2 うつ病患者における在宅環境下での主観的・客観的睡眠特性評価  
○柴田 菜那、小笠原 正弥、吉沢 和久、三島 和夫  
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
- 1-FP16-3 うつ病に合併した成人発症の汚言症(Coprolalia)の一例  
○金田 浩平、石橋 直木、青山 慎介  
兵庫県立ひょうごこころの医療センター診療部
- 1-FP16-4 WAIS-IV下位4指標の偏位方向が復職および継続に影響を与える可能性  
○竹田 明子、露木 美也子  
医療法人栄仁会京都駅前メンタルクリニック(宇治おうばく病院)
- 1-FP16-5 うつ病において昏迷に続き出現した過呼吸発作中の自律神経活動変化：発汗と心拍変動を用いた病態の分析  
○榛葉 俊一  
静岡済生会総合病院精神科
- 1-FP16-6 Difficult-to-Treat Depression (DTD)におけるTRDステージ分類の臨床的意義に関する後方視的研究  
○中村 倫之、逸見 竜次、瀧井 稔、増本 政也、千葉 比呂美、小曾根 基裕  
久留米大学病院精神神経科
- 1-FP16-7 Predictors of Antidepressant Switch and Associated Costs in Major Depressive Disorder  
○Biswadeep Das<sup>1</sup>、Vikram S. Rawat<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>Department of Pharmacology, All India Institute of Medical Sciences(AIIMS) Rishikesh, India,  
<sup>2</sup>Department of Psychiatry, All India Institute of Medical Sciences(AIIMS) Rishikesh, India
- 1-FP16-8 Depression and Psychosis: Odour-Related Delusion in Persistent Depressive Disorder  
○Selina Faye M. Fajutar、Robert Gerard O. Kelemen、Irene Carmelle S. Tan  
Mariveles Mental Wellness and General Hospital, Philippines

17:30~18:50 一般演題 17  
身体合併症

司会：神出 誠一郎 群馬大学神経精神医学分野

- 1-FP17-1 新型コロナウイルス感染症後遺症(Long COVID)に伴う認知機能障害における広範な脳内AMPA受容体密度の増加  
○藤本 優<sup>1</sup>、阿部 弘基<sup>1</sup>、永露 毅<sup>2</sup>、津川 幸子<sup>1</sup>、田中 明朗<sup>1</sup>、波多野 真依<sup>1</sup>、中島 和希<sup>1</sup>、一條 貞満<sup>1</sup>、有澤 哲<sup>3</sup>、高田 由貴<sup>1</sup>、木村 キミト<sup>1</sup>、佐野 亜加根<sup>1</sup>、平畑 光一<sup>5</sup>、佐々木 信幸<sup>4</sup>、木村 裕一<sup>6</sup>、高橋 琢哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学大学院医学研究科生理学教室、<sup>2</sup>公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、  
<sup>3</sup>横浜市立大学医学部RI研究センター、<sup>4</sup>聖マリアンナ医科大学医学部リハビリテーション医学講座、  
<sup>5</sup>ヒラハタクリニック、<sup>6</sup>近畿大学情報学部情報学研究所



- 1-FP17-2 **慢性期精神科病棟における新規作用機序便秘薬導入による費用対効果の検討**  
○大脇 晴香、須田 寛子、福井 弘恵、橋 輝、鈴木 雄太郎  
末広橋病院
- 1-FP17-3 **精神科病院における酸化マグネシウム製剤による便秘診療と高マグネシウム血症**  
○武中 稜<sup>1</sup>、江守 佳代<sup>2</sup>、川島 啓嗣<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>豊岡病院精神科、<sup>2</sup>医療法人恒昭会藍野花園病院、<sup>3</sup>京都大学医学部附属病院
- 1-FP17-4 **東京都精神科患者身体合併症医療事業Ⅲ型についてLINE WORKS導入前後における変化の検討**  
○奥山 光子<sup>1</sup>、玉井 眞一郎<sup>1</sup>、寺澤 佑哉<sup>1</sup>、櫻井 薫<sup>1</sup>、米元 勲<sup>1</sup>、内間 ひかる<sup>2</sup>、依田 花凜<sup>2</sup>、岩田 健<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター精神科、  
<sup>2</sup>地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター
- 1-FP17-5 **重い精神疾患をもつがん患者の臨死期の臨床像～緩和ケアチームが関わった患者を振り返る～**  
○横須賀 響子、伊藤 昌子、和氣 仁美、藤原 翔太郎、藤 雄一郎、島田 恵  
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院
- 1-FP17-6 **がんの治療方針を巡って意思決定支援に難渋した統合失調症の一例**  
○村山 真之<sup>1</sup>、深澤 義輝<sup>2</sup>、西村 俊哉<sup>1</sup>、神山 咲樹<sup>1</sup>、中太 淳平<sup>3</sup>、内海 裕汰朗<sup>4</sup>、根本 康<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>さいたま市立病院精神科、<sup>2</sup>さいたま市立病院内科、<sup>3</sup>さいたま市立病院外科、<sup>4</sup>さいたま市立病院産婦人科
- 1-FP17-7 **Intersection between Metabolic Syndrome and Mental Illness**  
○Rika Rijal<sup>1</sup>、Sabin Dhakal<sup>2</sup>、Prabhakar Pokhrel<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Lecturer, Department of Psychiatry, Kathmandu University School of Medical Sciences (KUSMS), Kavre, Nepal,  
<sup>2</sup>Consultant, ASG Eye Care, New Baneshwor, Nepal,  
<sup>3</sup>Consultant, Rhythm Neuropsychiatry Hospital and Research Center, Minbhawan, Nepal
- 1-FP17-8 **Neuropsychological Consequences of Chronic Pain: Identifying Cognitive Risks in Cervical Spondylosis**  
○Wei-han Wang<sup>1,2</sup>、Sheng-chia Lin<sup>1</sup>、Yoon Bin Chong<sup>3,4</sup>、Chih-hui Chang<sup>3,4</sup>  
<sup>1</sup>Department of Psychology, Kaohsiung Medical University, Taiwan,  
<sup>2</sup>Department of Medical Research, Kaohsiung Medical University Hospital, Taiwan,  
<sup>3</sup>Graduate Institute of Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan,  
<sup>4</sup>Division of Neurosurgery, Kaohsiung Medical University Hospital, Taiwan

17:30~18:50 **一般演題 18**

**社会精神医学(医学教育、心理教育、心理社会的療法)**

司会：功刀 浩 恩方病院

- 1-FP18-1 **保険診療外来において Good Psychiatric Management を取り入れたボーダーラインパーソナリティ症治療の提案**  
○富岡 悠、黒木 規臣  
埼玉県立精神医療センター
- 1-FP18-2 **リフレクティングがクライアントの発話の時制に与える影響**  
○杉田 智之<sup>1</sup>、辻井 弘美<sup>2</sup>、岩波 孝穂<sup>2</sup>、森川 すいめい<sup>2</sup>、加藤 忠史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医学部精神医学教室、<sup>2</sup>ゆうりんクリニック
- 1-FP18-3 **うつが併存するパーキンソン病患者に対する効率型認知行動療法の開発：デジタル機器利用に関する予備調査**  
○野網 恵<sup>1</sup>、向井 洋平<sup>2</sup>、高松 直岐<sup>1</sup>、浜村 俊傑<sup>1</sup>、高橋 祐二<sup>2</sup>、久我 弘典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部

- 1-FP18-4 **人文学を医学教育に活かす試み——夏目漱石からポリヴェーガル理論を学ぶ**  
○田中 伸一郎  
東京藝術大学保健管理センター
- 1-FP18-5 **双極症診断時の心理的反応と双極症患者のセルフスティグマとの関連**  
○毛塚 大<sup>1</sup>、石垣 真由子<sup>2</sup>、磯谷 悠子<sup>1</sup>、鈴木 映二<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北医科薬科大学医学部精神科学教室、<sup>2</sup>東北医科薬科大学病院福祉部精神科外来
- 1-FP18-6 **EGUIDEプロジェクトが実施するガイドライン講習会の全国的な広がり**  
○森 啓輔<sup>1,2</sup>、村岡 寛之<sup>3</sup>、堀 輝<sup>4</sup>、山田 恒<sup>5</sup>、松本 純弥<sup>1</sup>、小高 文聰<sup>2</sup>、渡邊 衡一郎<sup>6</sup>、稲田 健<sup>3</sup>、古郡 規雄<sup>7</sup>、橋本 亮太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>3</sup>北里大学医学部精神科学教室、<sup>4</sup>福岡大学医学部精神医学教室、<sup>5</sup>兵庫医科大学精神科神経科学教室、<sup>6</sup>杏林大学医学部精神神経科学教室、<sup>7</sup>獨協医科大学精神神経医学講座
- 1-FP18-7 **Improving Post-Discharge Engagement with Recovery Care Services for Patients in an Psychiatric Ward**  
○Zhenru Zhao  
Institute of Mental Health, Singapore, Singapore
- 1-FP18-8 **The Neurophysiological Mechanisms Underlying FA and OM Meditation: A Systematic Review**  
○Ngoc MINH NHAT. Hoang<sup>1</sup>、Nam Hoai. Bui<sup>2</sup>、Yen Thai Thi. Vo<sup>3</sup>、Thuong Xuan Thi. Le<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>Ho Chi Minh City University of Technology, Vietnam、<sup>2</sup>Ho Chi Minh City University of Technology, Vietnam、<sup>3</sup>Vietnam Buddhist University, Vietnam、<sup>4</sup>Vietnam Buddhist University, Vietnam

17:30~18:20 **精神科専門医研修中の医師 6**

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座

- 1-RP6-1 **非定型胸腺カルチノイド患者の精神症状の成因でCushing症候群と傍腫瘍性辺縁系脳炎の鑑別に苦渋した一例**  
○加藤 誠也<sup>1,2</sup>、松田 康裕<sup>1</sup>、戸田 成美<sup>1</sup>、小泉 冬木<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター精神科、<sup>2</sup>医療法人杏和会阪南病院、<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- 1-RP6-2 **小細胞肺癌に随伴した高齢男性の抗NMDA受容体脳炎に対し早期免疫療法が奏功した1例**  
○本多 祐也<sup>1,2</sup>、神川 浩平<sup>1,2</sup>、高田 涼平<sup>1,2</sup>、後藤 晴栄<sup>1,2</sup>、岡田 俊<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>奈良県総合医療センター精神科、<sup>2</sup>奈良県立医科大学精神医学講座
- 1-RP6-3 **COVID-19罹患後に9か月間カタトニアを呈した30代男性に急性期ECTが奏効した一症例**  
○能美 翔<sup>1</sup>、光井 瞳<sup>2</sup>、山田 典宏<sup>2</sup>、山科 貴裕<sup>3</sup>、松原 敏郎<sup>2</sup>、中川 伸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山口県立こころの医療センター、<sup>2</sup>山口大学医学部附属病院、<sup>3</sup>山口県立総合医療センター
- 1-RP6-4 **急性期治療後に認知機能障害と行動障害が残存した抗NMDA受容体脳炎の一例**  
○内田 大貴、清水 雄一郎、斉藤 善貴、稲田 健  
北里大学病院精神神経科
- 1-RP6-5 **演題取り下げ**